

1. 件名:「日立造船(株) 特定兼用キャスクの型式証明申請に関するヒアリング【11】」

2. 日時: 令和4年6月10日 10時00分~12時45分

3. 場所: 原子力規制庁 9階A会議室

4. 出席者(※・・TV会議システムによる出席)

原子力規制庁:

(新基準適合性審査チーム)

戸ヶ崎安全規制調整官、塚部管理官補佐、松野上席安全審査官、

櫻井安全審査官*

(核燃料施設審査部門)

甫出主任安全審査官*

日立造船株式会社

脱炭素化事業部 プロセス機器ビジネスユニット 原子力機器事業推進室

主席技師 他5名*

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料:

資料1-1 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 設置許可基準規則への適合性について(第十六条、第四条関連)

資料1-2 補足説明資料 4-1 4条地震による損傷の防止 地震に対する安全機能維持に関する説明資料

資料1-3 特定兼用キャスク型式証明(Hitz-P24型) ヒアリングコメント管理票

資料1-2 補足説明資料 16-3 16条燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 遮蔽機能に関する説明資料(令和4年5月27日に提出済み)

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	を踏まえて資料を修正した箇所等について、ご説明させていただきます。
0:00:06	お願いします。イノウエの菊池です。それではまず再編について、
0:00:11	前回のヒアリングでコメントいただいた点について、担当させていただきます。
0:00:16	まず、大変管理につきまして前回のヒアリングとかコメントは、コメント管理表の資料のページの番号でいきますと 38 分の 24 ページからになります。
0:00:30	図面とのダウンロードで見ますと、こちらの 92 番、ナンバー92 番から次のページのNo.の 90 っていう方が、前回ヒアリングでいただいた、遮へい関連のコメントになってございます。
0:00:44	表示、No.92、それから 94、それから 97 から 99 につきましては、前回のヒアリングにて口頭でご回答いたしまして、管理をしているというふうに認識しております。
0:01:00	それではまず、93、ナンバー90 番のコメント回答ですけれども、
0:01:05	フィールズさんと合わせましてナンバー95-1 の
0:01:09	あわせてご回答させていただきますけれども、こちらのコメントとしては、この審査会合用のパワーポイントの資料で、先行と同じというふうに記載しているところについて、わかりにくいという記事の上でコメントをいただいております。
0:01:25	これに対しましてはパワーポイントの資料の後ろの方に参考 2 というふうにつけておりますけれども、こちらの方に中元仙頭羽賀式等の比較をされておりましたが、
0:01:39	こちらに追加して、この 50 ページの方で、現地さん等につきまして、戦闘の考え方を説明するスライドを、
0:01:49	50 ページの方に追加をいたしております。
0:01:53	こちらは、5 ページのスライドの内容ですけれども、実績のある先方のタカハシの指定の設定におきましては、まず燃料領域につきましては、使用済み燃料とバスケットを演出化したモデル。
0:02:08	モデルとしておきまして、中央の最高燃焼度燃料領域と外周部の燃焼燃料領域がそれぞれ実形状の断面セキと等価な面積となる円及び円筒にモデル化しております。
0:02:25	またバスケットの最外周部につきましては、燃料領域より外側から胴の内面までの領域を等価な面積の円筒形状にモデル化しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:36	Aは確立形状は、周方向に不均一な厚さとなっている構造でありますので、バスケット外周部の密度を、密度係数で、
0:02:47	調整をしているというような、先行の私の評価手法になっております。
0:02:56	なお前回のコメントです、先行、アメリカの図を用いるようなそういうこともいただいていたんですけれども、アメリカの図を記載するというのが実はちょっと難しいというふうに考えておりますので、このような記載の整理という整理で、チェックをして記載をしております。
0:03:15	で、こちらの 50 ページの方のスライドによりまして選考の考え方をご説明した上で、元の%資料の 9 ページ、ちょっと及び 10 ページの方で、
0:03:28	技術チームという形の特徴的なマーケットの構造を、審査ガイドの方の予定力されております。適切にモデル化するという要求事項に適合しているということ、ご説明するような流れで考えてございます。
0:03:44	No.93 ナンバー9 号のコメントに対するご回答は、以上となります。
0:03:51	続きましてNo.96 のコメントについてご回答いたします。
0:03:57	No.96 のコメントは、バスケット外周部の密度設定につきまして、軸方向中央断面層厚の代表モデルで設定した密度係数を、
0:04:09	タンクにて端部にも適用することについてのコメントでございました。
0:04:14	これにつきましてはコメント管理表の方に、
0:04:18	回答を記載しております。
0:04:22	都度ケースの設定におきましては、選手の違いを考慮して、ガンマ線の合計値及び中性子について、それぞれの周方向の線量当量率分布が包絡されるように、
0:04:35	密度係数を設定をしております。
0:04:38	従いまして γ 線と中性子の比率の異なる事故を参考におきましても、利用できるものというふうに考えております。
0:04:49	前回のヒアリングにおきまして遮へい関連でいただいたコメントへのご回答は、以上となります。
0:05:00	規制庁松野です。
0:05:04	すいません私の方からちょっと幾つか確認したいんですけども、例えばこのパワポ資料の 9 ページ目で、
0:05:15	があるんですけども、
0:05:19	基本この燃料領域とバスケット最外周部は、
0:05:25	基本多分先行の、
0:05:28	メーカーでも、
0:05:29	同じように均一化してて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:32	9 ページ目の、
0:05:34	この
0:05:35	日立造船のバスケット講座が特徴的であるから、ここ、
0:05:42	燃料領域のところで、どのように均一化してるかっていうところで、
0:05:47	それを適切に考慮してるっていうところの説明の、
0:05:51	内容の確認なんですけども。
0:05:54	例えばこの左のこのバスケット
0:05:56	を見ると、2 種類のプレートの、
0:06:01	設計、
0:06:03	上、断面の違いっていうことで、プレートの①と②があって、
0:06:10	①は空洞で、②の方は、黄色い箇所が、
0:06:15	アルミニウム合金。
0:06:18	この
0:06:19	それぞれこのプレート 0102 を、
0:06:22	右側の、
0:06:27	実形状 2 次元モデル、高均一化、
0:06:31	してく際に、
0:06:34	その辺このプレートの 0102 が、
0:06:38	この中央部、
0:06:40	線源領域外周部線源料理それぞれで、
0:06:46	どのように均一化してるかというところをもう一度説明をお願いいたします。
0:06:58	日立造船の菊池です。
0:07:00	品質カーにおきましては、この
0:07:08	燃料領域を三つ貸しておきましてその領域の中に含まれております。バスケットの材質、
0:07:18	それから、燃料集合体の第 1 というものの
0:07:23	密度を均質化しておきまして、車両均一化、
0:07:28	その際におきまして、この
0:07:31	それと、1 コウゲと 2、
0:07:37	それと 1 の方が、要はアルミニウム合金。
0:07:41	が、少なく、あと 2 の方は、実形状としては、アルミニウム。
0:07:50	材質が多いということになるんですけれども、要は、その多い部分を、少ない方のプレート位置に合わせて、少な目に、
0:08:02	え。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:03	考えますので要は遮へい体としてそれだけ。
0:08:06	遮へい体が薄くなるということになりますので、
0:08:11	このように保守的に
0:08:14	考えて、均質化を行っております。
0:08:21	規制庁松野です。
0:08:23	今ご説明していただいた内容は、補足説明資料には、
0:08:29	薄書かれています。
0:09:20	あ、すみません、日立造船の福地です。
0:09:25	明日店頭の均一化につきましては、補足説明資料の、
0:09:35	別紙 1 の 22 ページの方に対して、
0:09:42	おりますけれども、
0:09:44	今のその振れと 1 と 2 も含めて、その
0:09:50	それでのブレードアルミニウム合区が少ない方のプレートとして保守的に設定しているというところにつきましては、今の説明資料には記載しておりませんので、
0:10:03	こちらの方は、その説明資料の方に
0:10:07	絵を追加するようにしたいと思います。
0:10:12	規制庁松野です。
0:10:14	一応多分この 9 ページ名のを説明する際は、そこが結構またポイントになってくる場所ですね。
0:10:24	はい。
0:10:27	で、
0:10:29	それで中央部と外周部の線源領域でこれ、色が違いますけども、
0:10:37	そこは、
0:10:38	今回のそのバスケット工場が特徴的であるところを踏まえて、
0:10:44	何か均一化機の考え方に、
0:10:48	違いが、
0:10:49	出てくるのでしょうか。
0:10:53	はい。
0:10:54	えっとですね燃料領域、
0:10:57	としましてはその赤色と黄色で、中央部の
0:11:03	というふうに対応しておりますけれども、こちら物性値として検出化する際には、この赤の部分と黄色の部分は、燃料領域として一つの

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:18	領域として物性値としては、その燃料領域内で均質化をしております。赤と黄色の区別というのは、こちらは線源強度を与える際、設定する際に、
0:11:31	それぞれ中央部と外周部で区別をして線源強度を設定しているということになります。
0:11:38	すいません、別の樋口ですけれども補足させていただきます。
0:11:42	中央領域中央部線源領域と外周部線源領域の考え方につきましては、先行型式との考え方の違いはございますが、
0:11:58	規制庁松野です。
0:12:01	今考え方に違いがあると今おっしゃったんですね。
0:12:05	いえ、先行可視化の考え方には違いはございません。ただし、与えられる1000人強や線源強度が、中央部線源領域と外周部線源領域が違うので、黄色と赤で区別しているということになります。
0:12:24	規制庁松野です。
0:12:26	今の点なんですけども、
0:12:30	この際高燃焼度燃料と、
0:12:34	平均燃焼度燃料、
0:12:36	この平均燃焼度燃料っていうのは、
0:12:43	具体的に、
0:12:44	条件として、
0:12:48	す。
0:12:50	どういう数値を、
0:12:54	値を、
0:12:57	入力することになるのでしょうか。
0:13:02	じゃあ、それ、企画部の菊池です。それにつきましてはその説明資料の累計。
0:13:10	この遮へい解析における収納物条件の概要ということで示してございまして、
0:13:23	そちらを見ていただきまして、ところですね、解析、すいません、11ページの表の一番右側が解析条件遮へい解析の解析条件を示した
0:13:39	になりますけれどもそちらの配置というところを下の絵に示しているところですので、そちらにお示しますように、中央部は、この
0:13:52	ピン型に収納できる、最高燃焼度であります48、ギガワットの燃焼度のもの。
0:14:00	それから、その外周部につきましてはこの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:06	質疑における、
0:14:08	最後、
0:14:09	燃料、燃焼度であります 44 ギガワットという燃焼度の設定で、それぞれ遮へいの線源強度を与えております。
0:14:20	以上です。
0:14:22	はい。規制庁松野です。
0:14:28	44 ギガワットと。
0:14:31	最後燃焼度で多分これ評価されてるんです。
0:14:36	今説明だったんですけども、
0:14:38	少しその平均という言葉がちょっと引っかかりまして、
0:14:44	実際は、
0:14:46	この
0:14:47	44 よりも、
0:14:49	超える燃料も収納、
0:14:52	することがあるということ。
0:14:55	なんでしゃあない。
0:14:59	はい。
0:15:00	芦田瀬野キクチです。
0:15:05	でございます。このタスクのトータルとして、
0:15:12	衛藤衛藤。
0:15:15	安うに集合する、燃料の
0:15:22	20、124 台集合しますけれども、24 体の平均としては、44 ギガワット以下、
0:15:32	というふうになりまして、さらにその中央部という部分については、
0:15:39	4 本を超えて、48 ギガアット以下までのものは収納できるということになりますので、外周部におきましては、44 ギガワットを超える燃料というのは収納することはないというふうな、
0:15:53	設計になります。
0:15:55	担当清野樋口です。補足させていただきます。お詫びしている抜本参考 1 の資料ですね、36 ページになります。
0:16:07	こちらに燃焼度について詳しく書かせていただいているんですけども、一体誰のサイトウ名所ですね、こちらが先ほど菊地が説明しました通り、48 が、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:22	平均ねちょうど 44 議案ですけども、浅い部分、9 ページの赤い部分で示してるところにここ三、四 18 伊賀までの燃料が入る可能性はあるんですけども、黄色の部分に関しましては、44 ギガ以下、
0:16:39	になりまして例えば、中国の赤いところにですね、48 伊賀までの燃料が減った場合ですね、この黄色の部分というのは、44 ギガより下回ってですね、全体で赤も黄色も含めてですね。
0:16:54	全体で 44 までに抑えるというのが考え方になります。
0:17:00	以上です。
0:17:04	規制庁、すいません、いいですか。はい。お願いします。
0:17:09	あのね、結局ここで最高とかね、平均とか使うからおかしくなるんで、これな、内側の中に体の最高燃焼度とかね、外側の最高燃焼度って説明した方がね、わかりやすいと思うんですよ。
0:17:24	要は今あんまり背平均燃焼度の値概念持って説明されてないわけですよねこれね。
0:17:30	要は、実際の、先ほどご説明いただいた、要は実際の装荷パターン考えてそれを包絡するような形でやってやって、ここも最高外側も要はとりあえず最高ということを、
0:17:43	なんであれば、説明先ほどの補足説明資料のところで、平均の話は特になくなってね、要は中央部は、48 なんですよね。
0:17:56	周囲の最高は 44 なんですよねこれね。ですよ。でいいんですよね多分。
0:18:02	であれば、そのようなことで、平均とか、最高とかっていう話するから、またわかりにくくなるんじゃないですか、これ。
0:18:11	日立造船の樋口でございます。36 ページのパワーポイントの資料にお示ししております。最高燃焼部とか平均証拠の記載方法なんですけども、
0:18:25	これは大変申し訳ありませんけど他社もおそらく同じような書き方をしているかと思うんですが、
0:18:34	ただね、今こちらの方からそういう疑問が出たわけだから、要は今までそういう形で、そういうことかかっていうことかもしれませんけども、
0:18:44	やっぱり説明としてわかりにくいということであればね、ちょっと言い方をちょっと、
0:18:50	再考いただいた方がいいんじゃないかなと思います。以上です。すいません。日立造船の吉田です。ご確認なんですけれども先ほどの

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:01	最高燃焼平均燃焼度の表現っていうのはパワポ資料の方の 50 ページ、参考に 50 ページの記載について、
0:19:12	どうでしょうか。ここで言ってるのと、
0:19:21	50 ページも、9 ページも同じじゃないのこれ。そうです。はいはい。
0:19:31	はい。ちょっと。
0:19:38	規制庁松野です。
0:19:41	一応先行の三菱、
0:19:44	等見ても、この遮へい解析で、
0:19:48	用いられているこの燃焼度の書きぶりは、多分平均という言葉使ってなかったと思いますけども、
0:20:00	あ、すみません、ちょっと日立造船の福地です。後、説明資料の方の 10 ページになるんですけども、
0:20:11	9 ページの一番下からですね、10 ページにかけてなんですけども、こちらの方ですね、遮へい解析に用いるその、
0:20:20	燃料の燃焼度として中央部と外周部とともに当該配置の集合制限の最高燃焼度というふうに記載させていただいてまして、解析においては、
0:20:31	それぞれの配置における最高燃焼度ということでこちらの方に説明資料なこのように、
0:20:38	と記載しておりますのでそれに合わせてパワーポイントの方も、表現は見直すということで、避難させていただきたいと思います。
0:20:51	規制庁松野です。
0:20:54	そこは平均燃焼度と分け、書きつつもそこはもうば補足説明資料と同様の記載で、ちょっとパワポ資料の方も修正。
0:21:04	願えればと思います。
0:21:07	渡瀬。
0:21:08	越智です。承知いたしました。規制庁のトガサキですけど、
0:21:13	ちょうど最高燃焼度という言葉と平均燃焼度という言葉の定義をちょっとしっかり確認したいと思うんですけど。
0:21:21	作業のパワポの 36 ページを見ると、
0:21:26	最高燃焼度というのは、
0:21:29	中央部と外周部で、48 とか 44 って決まっ決まってるものなんですけど、
0:21:37	平均燃焼度っていうのは
0:21:40	キャスク 1 基当たりの平均が 44 というふうに、ここには書いてあるんですけど、
0:21:49	だから先ほどのその図

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:51	9 ページの図妥当分の平均燃焼度の定義等その 36 の、
0:21:58	定義があってないと思うんですけど、
0:22:01	まず平均燃焼度っていうのは、キャスク一体当たりの平均の燃焼度という理解でよろしいんですか。
0:22:17	トガサキ、例えば、
0:22:19	集合体一体当たりは 48 ギガのものが、外周部に中央部に置かれたとしても、
0:22:28	キャスク全体としては、平均が 44 になるんじゃないといけないので、だからその、例えばMACCSで、
0:22:36	外周部で 44 のものを入れて、中央部に 48 のものをMACCSで入れると、その平均が 44 を超えるので、
0:22:47	そういう床入れ方はしないっていう、そういう約束事っていうふうに理解していいんですか。
0:22:55	工藤線の樋口でございます。ご理解の通りでございます。平均燃焼度はあくまでキャスク 1 体あたりに入れる燃料、すべての平均になります。
0:23:07	中国は、正しい中部は 48 ギガまでの燃料が入れると。
0:23:14	遮へい解析上はですね、最もご指摘が、見方をしております、中央部に 48 ギガベース外周部に 44 ギガまでの燃料を配置したら、こういう遮へい評価になるっていうようなことで
0:23:30	定義させていただいております。
0:23:32	規制庁のトガサキですわ。わかりましたそうするとだから 9 ページの平均燃焼度っていう言葉はちょっと適切でないと思いますので、
0:23:43	どっちもだから最高燃焼度で 48 か 44 以下の違いだと思いますので、
0:23:51	そこら辺はちょっと誤解がないような表現にしてもらいたいと思います。
0:23:58	はい。比嘉Head瀬野菊地です。承知いたしました。
0:24:08	規制庁松野です。
0:24:12	阿藤。ちょっと今回のそのコメント回答ではないんですけども、
0:24:18	今回その線量評価数に当たって、このA型B型それぞれ線量評価して、その線量評価の結果が、
0:24:29	測定する位置によって、
0:24:33	A型の燃料が高くなったりB型の燃料が高くなったりするところがあるんですけども、
0:24:40	そこは、
0:24:41	何か理由はあるんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:45	はい。日立造船の菊池です。
0:24:50	これにつきましてははですね、
0:25:10	すいません少々お待ちください。補足説明資料で記載ページ、確認します。
0:25:24	はい。説明資料の別紙の 1-1 ページの方で、
0:25:39	土岐さん。すいません日立造船の福地です。説明資料の別紙の 1-1 ページの方で、その下の方に記載しているんですけども、
0:25:49	負け型とB型の燃料でAとAとですね、それぞれ線源共同。
0:25:56	が、行っているということと、その燃料の軸方向の位置というものも異なっておりますので、
0:26:06	どちらが線の線量当量率が大きくなるかということはその操業率、系統率の評価位置に異なってきます。
0:26:14	これについては具体的にはB型燃料の方が、
0:26:20	大坂。
0:26:22	線源強度の方が厳しいということがありますので
0:26:27	方向には、事故法定分の方はB型燃料が厳しいというような評価結果になっております。
0:26:35	そのように
0:26:37	燃料の大綱によりまして線源強度の違い。
0:26:42	等がありますので、
0:26:45	その辺が五味形で、厳しいところが変わっているというところがございます。
0:26:56	具体的な
0:27:00	規制庁松野です
0:27:03	ちょっとこのすパワポ資料の参考 1 の 36 ページ目に、この収納物の使用の条件があって、
0:27:15	17 燃料のA型B型A型B型で、
0:27:20	大きな違いとしては多分、冷却期間、
0:27:23	が違って、
0:27:30	線源強度が強いのはこれ、B型になるんですか。
0:27:37	日立造船の内です。
0:27:40	えっとですね江藤。
0:27:42	一概にそのA型の方が崩落してるとかB型が崩落線源強度暴落しているというわけではなくてですね、その線源共同。
0:27:52	におきまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:54	すいません衛藤線源強度補足説明資料の方で、
0:28:03	お示しをして、補足説明資料の別紙の 1、
0:28:09	お示ししているんですけども、
0:28:15	別紙の 1 の、
0:28:20	4 ページの方でこちらは、
0:28:23	大坂釜宣言共同を示しております、
0:28:28	これで見えていただくと、
0:28:32	大坂側も線源強度のこの幹部等は、AとB型。
0:28:38	の方が、厳しいということになるんですけども、
0:28:42	次のページ、
0:28:45	中性子元強度等を見ていただきますと、
0:28:52	A型の方が、
0:28:55	そうですねB型の方が厳しくなっているというところがありまして、その
0:29:04	線源の種類によっても、そのどちらA型とB型どちらが厳しいというのが、分かりますので、そういった点もありまして、A型とB型それぞれ評価している。
0:29:16	というところがございます。
0:29:24	規制庁オオツカレっす。
0:29:29	大体理解できました。
0:29:32	私からは以上ですけども、他に質問がありましたらお願いします。
0:29:48	規制庁、トガサキですけど。
0:29:51	ちょっと殊、パワポの 10 ページなんですけど、
0:29:57	まずですねこの右のRZ体系のこの図のいろいろなんですけど、この色ってというのは、
0:30:06	何か
0:30:08	左と対比して、何か同じ色に合わせるってということがちょっとできないの かっていう。
0:30:16	の間で確認したいんですけど。
0:30:20	はい。日立造船の福地です。一方、
0:30:25	はいすいませんちょっと今、その輪切りの断面のモデルと、ちょっとこの モデルでちょっと色が異なっておりますけれどもこちら合わせることは 可能ですので合わせるように、
0:30:37	修正したいと思います。はい。その上でなんですけど、
0:30:43	まず、右の図のオレンジのところは、黄色とオレンジ部分に、
0:30:50	分かれるってということで、まずよろしいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:55	はい。日立造船の菊池です。
0:30:57	はい。ご理解の通りでございます。それと、藤
0:31:04	一番その右側のこの緑のところは、
0:31:07	中性子下げ材で電熱品スペーサーだと思うんですけど、
0:31:12	この黄色のところは、
0:31:15	これも同じなんですか
0:31:18	中性子吸収材とかが入ってるって考えていいんですか。
0:31:23	はい。日立造船の福地でございます。その鞍部の黄色いところにつきましては、こちらは冷熱品が空いていないところでして、
0:31:35	0人。
0:31:38	入っているところになります。カンダ中性子機材が入っているところですね。
0:31:45	中性子遮へい材が入ってございます。はい、わかりました。その上で、
0:31:51	Q先ほど96番の質問の回答の、
0:31:55	ところなんですけど、
0:31:59	ここうわーだから
0:32:02	特になXIはその中をですね中央代表として、それで、それを多分まで適用スルーのは大丈夫かっていう、
0:32:13	質問で特に γ 線と中性子っていうことなんですけど、
0:32:17	回答を見ると、 γ 線と中性子で別々で評価してやってるから、
0:32:23	大丈夫だっていうことなんですけど、ちょっと確認したいんですけどさ、先ほど、
0:32:29	補足説明の、
0:32:33	A型とB型のその違いのところでその事故方向のところ、違いますっていう説明で、
0:32:41	ガンマ線の方は、
0:32:44	別紙1-4で、
0:32:47	下部プレナブ部っていうのが、
0:32:50	AとBでかなり違いますよね。
0:32:53	これは、
0:32:56	で、線源分布っていうのも、あざねちょうど分布っていうのも、図で、
0:33:03	別紙、1-10、
0:33:06	4とかですか。
0:33:08	それでは、1の11-14はこのA型B型どっちの、
0:33:13	どっちかの、何ですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:16	そのウダ宣言文とか違うからあれなんです
0:33:21	端部のすまズ線量が違うというふう
0:33:41	一步、
0:33:43	日立造船の菊池でございます。
0:33:47	まず先ほどご説明した1-4ページの方で、この放射肝癌制限強度がA型とB型で大きく違っているということにつきましては、それはそれぞれA型とB型で
0:34:01	端部に使っている構造材の材質等に起因して、そこに含まれておると。
0:34:09	終わるとの施工者が線源ボルトの含有量が異なっているために、そのような違いが出ているというふうに認識しております。
0:34:20	はい。それ一で
0:34:23	議長のトガサキですけどさっきパワポの10ページのズーッとの間関係なんですけど、
0:34:31	このオダあ、Rz方向は、そういう、
0:34:35	先ほどの、
0:34:38	別紙1-4の、
0:34:40	γ線については軸方向の分布も考慮した計算になってるんですか。
0:35:03	はい。日立造船の菊池でございます。
0:35:09	このパワーポイント資料の10ページの方の
0:35:15	パパスケールバー給油の密度設定におきましては、ご説明させていただきましたようにγ線、
0:35:24	包莖値と修正値等でそれぞれ分けてそれぞれを
0:35:32	それぞれの
0:35:33	円周方向の線量当量率分布と、包絡するように
0:35:41	密度係数を設定しております。
0:35:44	で、またそのγ線、
0:35:47	その中でも、放射化のγ線源。
0:35:50	それから燃料有効部からのガンマ線、それが20%ございますけれども、それぞれにつきましてもこの設定した密度係数が、係数によって概ね包絡されているということは、確認して、解析を行っております。
0:36:09	あとトガサキですけど、
0:36:12	包絡してるっていうのは、この10ページの
0:36:16	青い線に入ってるっていうことですか。
0:36:21	はい。猪瀬の福地です。コニシの通りです。すいませんそうすると、XIで、その中央部で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:33	崩落してることを確認しているだけでなく、
0:36:37	実行方向の方もこの崩落を性を確認してるってことですか。
0:36:47	日立造船の菊池でございます。すいません。
0:36:51	この 10 ページ、本当の資料の方、10 ページの方にお示したように
0:36:58	断面のxyモデルで線量当量率分布を計算して、それを包絡するように、
0:37:07	別のケースを設定するその包絡性を確認して設定するというところを行っているのはこの中央断面のみでございます、
0:37:14	タンクにおきましては、
0:37:17	この計算、臭いモデルの断面、
0:37:21	線量当量率分布を算出して包絡性を確認するところまでは行っておりません。
0:37:29	規制庁のトガサキで、 γ 線については、
0:37:36	あれですね
0:37:38	さっきの別紙の 1 の 14 の分軸方向の分布で、この下の方が端部の方が線源としては、
0:37:49	小さいというのがわかるんですけど、
0:37:52	遮へい能胴体とかっていうのも多分、中央と端部で厚さとか変わってないようなので、問題ないと思うんですけど。
0:38:05	修正引いについては、
0:38:08	このちょっと先ほどの、
0:38:11	10 ページの右のところ、
0:38:14	厚さがちょっと違うように見えるんですけど、
0:38:19	そういう影響とかっていうのは考慮されてるんですか。
0:38:25	ここにあるですね。
0:38:30	でございます。
0:38:32	災害しますけど、最外周のところの違いをチェックしてるんでっていう、そうそう。
0:38:41	はい。日立造船の菊池でございます。この 10 ページにお示しておりますこの手法というのは、このバスケット最外周の密度を設定するための手法、
0:38:55	ございまして、その端部、
0:38:58	中央部もこれを、ごめんなさい。
0:39:02	別のケースを設定したこの孔口中央断面、
0:39:08	離れたその端部等でその遮へい体の構造が違うところにおきましては、それはそちらのRZで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:18	その形状をモデル化して、の解析を行っておりますので、
0:39:23	これについては、
0:39:26	そこで適切に形状をモデル化して評価を行っているということになります。
0:39:33	トガサキです
0:39:36	あくまでもバスケット災害集落のその設定、境界を設定するために、中央部を使ってやっていて、
0:39:46	その外側に胴体とか修正イシイの吸収材とかありますけどそれはちゃんとRZでちゃんと
0:39:56	所、その受講後の1の、その寸法とかを考慮して計算してるっていうそういう理解でよろしいですか。
0:40:04	はい。活動性の藤です。ご理解の通りでございます。はい、わかりました。
0:40:11	以上です。
0:40:14	取得
0:40:15	規制庁松谷さん、他に質問がありましたらお願いします。
0:40:20	すいません規制庁の方ですけども、一つだけ確認なんですけども、
0:40:25	ね、
0:40:27	何だこれ。
0:40:29	均一化領域度で、それぞれ中央部線源領域外周部線源領域、バスケット最外周部のこの0にしてるところの半径ね。
0:40:40	アンケートでどうやって求められてますか。
0:40:44	はい。日立造船の菊池でございます。その均一化したところの丸円筒の関係ですけれども、こちらは均一化する、
0:40:56	要は、このスライドで言いますと記述し、ポイント資料9ページの添
0:41:03	ページで言いますと真ん中の実形状を示したところでこちらも同様に色分けしてとか黄色とかで使っているわけしておりますけれども、金こちらで設定したその中央の線源領域というところと、
0:41:18	同じ面積となるような、及び円筒の半径で設定をしてございます。
0:41:26	いや、だから、言いかえれば退席保存してるってことですね。
0:41:31	はい。日立造船の菊池です。
0:41:34	その通りでございます。はい、わかりました。結構です。
0:41:44	規制庁松野です。
0:41:47	櫻井さん何かありますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:54	遮へいに関しては今皆さんがお聞きし、聞いてくれたので、ほかにはないです。
0:42:03	規制庁松田です。はい、わかりました。
0:42:08	では遮へいについては以上ですので、次に地震のコメント回答お願いします。
0:42:18	はい。滝野委員の茂木です。それでは地震の方、
0:42:23	前回いただいたコメントの対応並びに資料の修正箇所についてご説明させていただきます。当時Cの方ですね、図面等のサービス部、
0:42:36	ご意見、コメントがございますのでコメント回答を、
0:42:39	資料の方にしたがつて、その回答ワーポイント資料や説明資料で説明するという形とさせていただきますと思います。
0:42:48	等ですね、車検の方でも申しましたが
0:42:53	先行メーカーさんとの比較のところはですねやはり他メーカーさんのちょっと図とかは、
0:42:58	弁済禁止というような文言も入ってましたのでちょっとコピーして、今ちょっと控えさしていただいています。また既架空のですね、該当箇所等のですね、
0:43:10	通知資料等に添付するというようなお話ができればというお話もありましたが、やはり体裁とするところをですねちょっと今まだ、それぞれとして控えさしていただきまして、
0:43:22	本日はちょっと駄目協議の方ですね、
0:43:27	今お示しますがこういう形で必要と、このように準備しておりますので、そのような説明をさせていただきます。
0:43:36	それでは、説明させていただきます。
0:43:39	日立造船の南です。
0:43:42	それではコメントリスト等に従いまして、地震に対する回答方針等の説明をさせていただきます。
0:43:51	衛藤。
0:43:54	基本的にコメントリストに従って、回答の方説明した後、別紙。
0:44:00	補足説明資料を直したところにつきましては合わせてそのページを参照したいと思っております。
0:44:08	パワーポイントを修正した箇所につきましては、パワーポイントを注書きにわたりますので、このコメントリストに沿った説明をした後に、
0:44:19	パワーポイントだけで改めてご説明したいと思っております。
0:44:24	ではコメントリストの 38 分の 10、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:29	6 ページをお願いします。
0:44:31	コメントNo.66 になります。
0:44:34	コメントの内容としましては、設計方針で臨界防止量ユリな変形がそうなることを、
0:44:42	評価基準とするのであれば、有意な変形が生じないことの詳細な説明が必要であるというコメント等でした。これにつきまして、
0:44:51	この有意な変形が生じないことの詳細な説明を、附属説明資料についておりますので、
0:44:58	補足説明資料の、
0:45:01	まず、19 ページの方をお願いします。
0:45:15	説明資料 19 ページの方の、三角マークの域が出ているところですけども、この中の、2、行目ですね、臨界防止機能担うバスケットは、
0:45:27	金属キャスク構造ティップに定める登用状態Dの許容力を許容限界とし、
0:45:34	塑性変形が生じる場合はバスケットの変形量を考慮したから、臨界解析により臨界防止上有意な変形が生じていないことを確認するという
0:45:44	方針を明確にしております。
0:45:47	また同じく補足説明資料の別紙 2 の 11 ページをお願いします。
0:45:58	別紙 2 の 11 ページの絵と三角マーク上から二つ目の三角マークのところですけども、
0:46:05	江藤加来バスケットの評価をした応力評価をした際にですね、複合力についても、目標力を超えているか超えてないかという確認をしまして、
0:46:17	ご協力より小さいため、バスケットプレートは塑性変形しない、従って臨界防止上品な連携は生じないというふうに、
0:46:24	北海道の要求事項を満たしているということを明記しております。
0:46:32	コメントリストのナンバー66 に対する回答は、以上になります。続きまして、コメントNo.67 番をお願いします。
0:46:42	コメントの内容としましては、
0:46:45	パワーポイントの議員さん。
0:46:47	すぐコメントですけども、記載内容だけでは、
0:46:52	アビル作業範囲が適切に考慮されているかどうか判断できないんだ、できないため、具体的かつわかりやすく詳細に説明して欲しいということで、
0:47:02	これは輸送容器本来の簿価指標が、あとバスケットの工学試験評価です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:09	主にですけれども、作業範囲が適切に考慮されていることがわかるようなポイントを修正しましたので、後程ご説明したいと思います。
0:47:19	コメントNo.68 番をお願いします。
0:47:23	68 番は、当専攻の型式とどこまでが同じ考え方で、その部分が特有の考慮分事項何かを明確にし、また教えてやばらつきについてどのように考えているかを詳細に説明した上で、
0:47:37	基準適合性を説明するようストーリーを考えて資料を作って欲しいというコメントですが、
0:47:43	これにつきまして、
0:47:45	あと先行株式との差異については、パワーポイント資料の方に、衛藤。
0:47:51	を少し追記しましたので、また後程パワーポイントの方で説明したいと思います。
0:47:56	コメントいただきました保持性ばらつきというところにつきましては、
0:48:01	このコメントリストの欄で回答する形とさせていただきたいと思っております、
0:48:07	ご修正につきましては、荷重機を保守的に設定する。
0:48:11	あとは荷重を支持する一部の部材を無視する。
0:48:15	等の法令により、越境カーペットは運転を許していると、有しております。
0:48:21	また、材料強度のばらつき等に対しましては、この企画中規格値を持っていることにより、基準値を安全側に設定していると、というような考え方をとっております。
0:48:36	新美衛藤コメントNo.69 番のところにつきましては、前回コメントいただいた時にポートで書いても住民のため、今回は説明省略いたします。
0:48:48	コメントNo.75 をお願いします。
0:48:51	コメントの内容につきましては、低角だけではなく、バスケットプレートも布田の動きを適用するってということか。
0:49:01	パンフレットプレートの福沢さんも関係しているというのであればそれがわかるように示して欲しいということで、
0:49:08	回答の方針としましては、バスケットプレートのない国分甲斐蘇武が分散されておりますので、要は、本体の荷重の分布が、秘密ではないというようなことがわかるよう、(1)の方を種々修正いたしましたので、
0:49:24	後程ポイントでご説明させていただきます。
0:49:28	コメントNo.71 番をお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:31	71 番のコメントの内容につきましては、固定化内部に対して濃い色の領域の荷重が作用するという評価をしているか。
0:49:41	評価していないのであれば、PRBを、資料に記載することということで、
0:49:46	固定価格の健全性に問題がないことがわかり、ワーポイント資料を修正しましたので、後程ご説明いたします。
0:49:56	続きまして、説明の 38 分の 17 ページをお願いします。
0:50:02	コメントNo.72 番になります。ご迷惑内容は、鉛直方向の荷重を作用させた評価を説明しているか、した方は評価しないのかというコメント。
0:50:13	そうでした。これにつきまして、下方向の評価を、補足説明資料に追記しましたので、
0:50:20	当局説明資料の別紙 2 の 3 ページをお願いします。
0:50:29	1-3 ページの 3 月、下の方の三角マークのところに、水平方向地震力と鉛直下方向の地震力が作用した評価を追記しております。
0:50:42	同じく、別紙 2 の 5 ページのところにも、フジタ方向の場合の荷重条件及び評価条件を追加しております。
0:50:54	また、同じく別紙 2 の、
0:50:57	10 ページのところに、
0:50:59	水方向地震力及びエンジンと下方向地震力が作用した場合の応力の評価結果を載せております。
0:51:11	コメントNo.72 号、
0:51:14	以上の通りです。
0:51:17	続きましてコメントNo.73 番をお願いします。
0:51:22	コメントの内容は、3 において、燃料集合体の荷重として、0.5 台分掛ける 3 体の一方で 1.5 体分の荷重が作用するとして評価されているが、
0:51:33	でも大分とする妥当性を説明して欲しいというコメントでした。
0:51:38	その回答としましては、0.5 台分という考え方が保守的であることの説明をパワーポイント資料に追記しましたので、
0:51:48	後程ご説明させていただきます。
0:51:51	コメントNo.74 番をお願いします。
0:51:54	説明と内容は、ほぼイトウ度足らずの部分なのかというコメントでした。それに対しまして、
0:52:03	データ等を行ったというイメージをお持ち内容の説明資料及びパワーポイント資料を修正しました。
0:52:10	説明資料の、
0:52:13	別紙 2 の 12 ページをお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:19	次の 12 ページは、それ等、
0:52:22	バスケットプレートの評価のうちの、
0:52:28	もともと横井樽井という表現で、その評価 1、
0:52:34	に対する評価を行っていたんですけども、呼び方としましては、曲げ 応力が生じるバスケットプレート講師というふうに呼び方を変えておりま す。
0:52:47	同じく別紙 2 の、
0:52:51	19 ページをお願いします。
0:52:54	次の 19 ページは、もともとこちらは、作業会長、バス停とプレートを確保 していたと呼んでいたのですが、
0:53:04	名称としましては、圧縮応力が生じるバスケットプレート講師というふう に記載を修正しております。
0:53:14	コメント 74 番、
0:53:16	今回ゴトウは以上になります。
0:53:19	続きましてコメントナンバー 75 番をお願いします。
0:53:25	ネット内容は、ガスセットの評価を光学式で評価していれば、
0:53:32	幾何学的な説明も含めて、中の書き方、評価点が妥当なのかということ を説明して欲しいというコメントでした。
0:53:40	それに対しまして、理由の書き方は、兵庫、
0:53:43	評価点が妥当であることが分かるよう%ポイント資料を修正しましたの で、後程ご説明させていただきます。
0:53:52	コメントNo.7677 は、コメントをいただいたときに、口頭で回答しておりま すので、今回は説明を割愛させていただきます。
0:54:03	70、コメントNo.78 番をお願いします。
0:54:08	コメントの内容につきましては、供用状態Bがどういう状態なのか、当該 部分を合わせて提示して欲しい。
0:54:14	キャンプの雇用状態の増。
0:54:18	どのようなものがあるのかということで、
0:54:21	今あの画面で導入したいと思います。
0:54:39	金属キャスク構造規格の、
0:54:45	ページ数で言いますと、G-D の 4 ページ。
0:54:51	になります。
0:54:53	こちら、AMGB の 14002 供用状態に、に関する要望というところで、(5) のところに、供用状態リートは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:04	機器が全断面にわたって台変形を生じてもよいと設計仕様書で規定された圧力及び機械月加入が付加された条件下にある状態をいう。
0:55:15	というふうに定義されております。
0:55:18	参考にはなりますが、
0:55:21	設計建設規格の方に、
0:55:24	つきましても、その供用状態の定義がございまして、
0:55:32	それと、I-1-7 ページになります。
0:55:40	PMRの 210 機器等の供用状態に関する要望というところの(6)番のところ、
0:55:48	供用状態Dとは、代表とするPT等が全断面にわたって大変提案書と最寄りと設計仕様書等で規定された、よく解決されるが課された条件下にある状態を優先
0:56:00	というところで、中身としましては、設計建設規格も金属共用さ金属テスト構造規格も、この供用状態Dのさすところは同じところを指しているというところになります。
0:56:17	ごめん。ナンバー71 番のご説明は以上になります。
0:56:22	コメントNo.の 79 から 90 につきましては、口頭で回答済みのため、させていただきます。
0:56:35	何とか 81 番お願いします。名簿の内容は、図ワークラインを多重作業日にスペースし、荷重がかかる場所は、計画というところであるならば、トータル 4 人です。
0:56:53	これに対しまして、右の、
0:56:56	コラボ断層ついてるんですけども、右の段のみで金具が接することがわかるよう、そ燃料を修正しましたので、
0:57:05	ページ 1-1 ページをお願いいたします。
0:57:20	別紙 1-1 の
0:57:23	右側の図
0:57:26	のところで、
0:57:29	トラニオンのダンサーがついているところに、トラニオンの固定金具が来るんですけども、
0:57:35	その際右側の断面だけに接していて、左側半分のところは、衛藤。
0:57:43	檀が落ちた左側のトラニオンに接しないという形がわかるように図を修正しております。
0:57:53	では、コメントNo.の 82 番をお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:58	コメントの内容は、おそらく4理事分は、せん断応力で評価されており、センターという、生き抜く力だと思う。なぜ戦乱が評価しているのかというコメントでした。
0:58:10	ただ、衛藤。
0:58:13	83番もちょっととらんように関連しますので、あわせて回答させていただきたいんですけども、コメントNo.83番もトラニオンの亡命等を評価するためのプレゼンがちょっと不明だが、
0:58:26	最も厳しいモーメントで評価しているか。
0:58:29	複雑な部分赤字の作業の妥当性や応力が生じ方がわかるように進めを自立させることというコメントでした。
0:58:37	それに対しまして、江藤深山にせん断荷重が作用する量補足説明資料を修正しております。またモーメント評価するための固定での位置とか、
0:58:49	荷重の作用点が妥当であることを、補足説明資料のほうに設置しておりますので、
0:58:55	補足説明資料の別紙1の7ページをお願いいたします。
0:59:08	戸部ん時、
0:59:09	一応7ページに、
0:59:12	トラニオン以下、家中が作業した場合の、
0:59:17	ネジ山を評価する際の、
0:59:21	どのように先導能力がそう出るかというところを、図で示しております。
0:59:27	荷重作用点というのは、固定金具が作用する範囲のうち、下に書いてありますモーメントアームが一番遠くなる場所。
0:59:37	に管理をさせさせるということ的な条件を適用しております。
0:59:41	この予定にかかる荷重とのモーメントアームの距離によって、
0:59:47	衛藤。
0:59:50	援護書いてあるこのモーメントのところ、
0:59:53	これの中心のところで、
0:59:56	モーメントが層理ます。
0:59:59	モーメントの形としましては、トラニオンの上半分のところに、この断面における、左側に引張引張応力のような、
1:00:11	形で審判の力が書かれてます。
1:00:14	一方トラニオンの下半分につきましては、
1:00:17	図に記載の通り、江藤圧縮するような応力が、
1:00:22	江藤小西と申します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:28	この断面の右側のところに、熱山がありまして、青い線で示してあるところですけども、
1:00:36	ここに、このネジ山のところを拡大図を載せておりまして、
1:00:41	上アプライアンの上半分の方、
1:00:44	を見ていただきますと、
1:00:46	トラニオンはモーメントによって、左側の方に移動しようとしています。
1:00:51	これに対しまして、トラニオン本体が左に移動しようとするのに対して、
1:00:57	ヤスの本来のメネジ側の方は、あそこに泊まろうとしますので、
1:01:03	トラニオン本体側のねじ部のねじの
1:01:08	先端部分、こちらにまず資するように、先端荷重が生じ、
1:01:14	これがジウムすべてのところに、同じようにせん断荷重が作用しますので、
1:01:22	オノ理事ヤマノところのせん断応力を評価しているというところになります。
1:01:29	またモーメントの位置や、
1:01:32	果樹。
1:01:33	コメントARMのインターはその妥当性につきましても、この図で示してありますように、
1:01:40	あくまでモーメントが生じる、ありますように、
1:01:44	このメーターの範囲でこの右側のこの断面の位置で生じるというところになります。
1:01:50	それ、そのモーメントによって生じた荷重を、ねじ山のところで負担して、負担しているというそういう考え方になります。
1:02:03	以上でコメント 82 番の 83 番の回答になります。
1:02:08	続きまして、コメントナンバー84 番をお願いいたします。
1:02:16	84 番はそのポイント資料のところの、少しでしたが、申請者が考えた評価モデルが、実際起こる現象適切に表現しているということが、その境界条件等下流状況も理解できるようにすることというコメントでした。
1:02:34	荷重条件、境界条件がわかるように本資料に追記いたしましたので、先ほどご説明させていただきます。
1:02:44	続きまして、コメントナンバー85 番をお願いします。
1:02:50	コメント内容ですが、まずそのトラニオン接続部の疲労評価について振替式抗力上では暴力周知を考慮する必要があるが、
1:03:00	考慮する必要がないということでありましてことを説明して欲しいというコメントでした。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:05	これにつきまして、
1:03:09	当地域のところに記載してあります一番上のブロックになります、設計建設規格によれば、協会設備用の条件では、応力集中継承にと仮定した上で備忘録強さを概算し、
1:03:23	その三分の1を繰り返しピーク応力場サービスとして、職員の回数の形を繰り返し効率よさCより小さくなれば、広岡井関不要としているというふうに、
1:03:34	解説されております。
1:03:36	なので、ぜひ、応力集中ケースは非常にいいというものを使っておりはされているという回答になります。
1:03:46	また、コメント内容、二つ目で、また、供用状態Dは、終局耐力Suベースの評価基準になっていると思うが、
1:03:56	フローがわかるように関しては、Pコメントにつきまして、
1:04:03	回答方針の二つ目のブロックになりますが、
1:04:05	金属キャスク構造規格の方では、密封容器に対しては、
1:04:11	教条定義において、短期、繰り返し、これは地震荷重のことを指しておりますけれども、これが作用する場合には、その繰り返した事業所に対して評価をすることが求められております。
1:04:23	そこまでは近くに記載されている内容になります。
1:04:28	ただしのところ以降は、
1:04:31	藤英治弊社の理解になりますけれども、ただし、トラニオン接続、減益ねじ部の方になりますけれども、これは三つ病気である象の一部ではあるんですけれども、
1:04:43	ねじ部が破損したとしても密封容器に求められる機能に影響を与えないため、
1:04:49	この部分についてはいろいろ不要と考えております。
1:04:53	なので、補足説明し、補足説明資料及びアポイント資料から疲労評価を削除しております。
1:05:01	同じくコメント内容の最後の三つ目になりますけれども、
1:05:06	共用女性委員の評価になぜ良いのか、共用の考え方に基づいて説明することというコメントでした。
1:05:14	こちらにつきまして、まず資料の方、ひとつお許しいただきたいのですが、
1:05:21	インドgrass構造規格の
1:05:34	一応解説AMGAの15というところのページをお願いいたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:44	こちらにフィードバックの設計受賞等々協力対応例ってということで、
1:05:52	貯蔵日の標準燃料の施設内なんですけど、設計書 1 において、Ss地震時、
1:06:01	これが最後です。
1:06:02	その状態にあるときに、対応するという状態の理由としては、供用状態 D というものが、
1:06:10	解説のところに示されると。
1:06:14	また同じく、
1:06:16	運用キャッシュ登録ってもんなんです。
1:06:24	1 の解説 AMGB の 16 ページ。
1:06:28	ところの、
1:06:40	違うから、3、2 段落目のところですよ。
1:06:45	本規格で確保しようとする基本的安全機能は、密封機能及び臨界防止機能であり、Ss地震力作用時に必要な基本的安全機能とは、放射性物質を放出しないこと、及び、
1:07:00	使用済み燃料が臨界に達している。ただし、
1:07:04	達しないほどである。
1:07:05	これらは一次的には、密封境界を構成する構造部材が破損しないこと及び委員会防止機能及び燃料支持機能を有する場所が破損しない。
1:07:18	従って、これら構造材を破損させないとする操業状態 D の基準を適用するというふうに、この金属キャスク構造規格では、
1:07:27	このような考え方に従って、
1:07:32	2、
1:07:34	そうしているという考え方、こちらにも解説されております。
1:07:39	ちょっと不足の情報にはなるんですけども、同じページの、今、下から 2 段落んのところの記載を説明したんですけども、
1:07:49	そこからさらに上に三行すんだところですね。
1:07:56	企画においては透明金属キャスクの耐震重要度分類はとられることがないものの、他の原子力機器の耐震設計との整合を保ちつつというこの深野原子力五つの耐震設計というのが、
1:08:11	おそらく逆のことを指しております、
1:08:15	JR の方も今資料をユリさせていただきます。
1:08:24	宮古野。
1:08:26	79 ページのところを見ていただきますと、
1:08:30	基準地震動 S II というところ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:34	(2)のSⅡになりますが、
1:08:36	基準地震動Ssによる荷重を運転状態Ⅰにより生ずる荷重と組み合わせた状態で、過大な変形をして必要な機器が行われないう、所要力を定めたというふうになっており、
1:08:49	すなわち運転状態4に対する要望力状態4円を基本として、地震荷重に対する特別の制限を加えた許容応力状態。
1:08:59	4ASを限度としていくと。
1:09:02	これは林道逆恒設の
1:09:05	この考え方が同じく取り入れられてると。
1:09:10	また、(4)のところも参考になるんですけども、
1:09:14	基準地震動Sワン或いは室は、原子炉の安全性を、これらの地震が発生した状態でも確保するための設計用地震動であるので、
1:09:23	これらの地震動が発生した後に原子炉を再起動させるかどうかは、
1:09:29	揚力を定めるにあたっては考慮していません。
1:09:34	つまり地震に対しては、とりあえず安全性を確保するために供用状態Dのところまで、
1:09:42	担保するという形にしています、
1:09:46	原子炉の方ですと再起動させるかどうかは考慮していない、金属キャスク構造規格の方で言いますと、
1:09:53	地震等が発生した後に、それを継続するかどうかというのが、比較上はそこまで定め方として定めてはないと。あくまで、地震時の安全性を確保するという観点からということを選んでいると、というような、
1:10:08	そっちで理解しております。
1:10:14	コメントNo.85 番の回答になります。
1:10:20	続きましてコメントNo. 86 番をお願いします。
1:10:24	内容は、
1:10:26	記載の評価条件が最も厳しいことを説明して欲しい。
1:10:31	ちょっと今斜め方向で辞退をした場合はどうなるんですか。
1:10:35	等を、補足説明資料にも、
1:10:38	追加することで、このコメントに対しましては、記載の表、ページがもう厳しいということがわかるよう、また何年後購入された場合は厳しい評価にならないことがわかるよう説明資料を修正しております。
1:10:52	説明資料の別紙2の19ページをまずお願いいたします。
1:11:16	2-19ページにおきまして、もともと、前の資料で言いますと、アピタの評価のところ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:25	つまり足ボールがどう出るこれ、法人オフィスにつきましては、この資料で言います、評価 1-4 というところを、
1:11:34	だけを最も厳しい。
1:11:37	1 として評価していたんですが、
1:11:46	注記のところにも記載してありますように、1ヶ所ではなくて、厳しくなると考えられる箇所を複数箇所、このペーパーの場合で言いますと、評価 14 は、
1:11:59	座屈長さが最も大きい部位であると。
1:12:02	評価一部のところにつきましては燃料集合体からの風が最も、運営方法から荷重 4 体分が作用しますので、
1:12:11	そういう意味で、厳しい条件となる評価医師を複数選んで、すべて評価する。
1:12:19	いう、いう形に修正しております。また斜め方向につきましては、
1:12:26	別紙 2 の 24 ページをお願いします。
1:12:33	別紙 2 の 24 ページは、先ほどの、
1:12:37	圧縮応力が生じる。
1:12:41	バスケットプレート更新。
1:12:43	評価 1 それぞれ評価 4 と評価を、紹介事故がありますけれども、これがバスケットが斜めの状態になって、博報堂が対応した場合、
1:12:54	評価位置は同じ、まあまあ、
1:12:57	この図は記載しております。
1:12:59	その際に、
1:13:03	表、例えば評価 1 読んでみますと、落下方法の上に実施していく。
1:13:09	今、吹き出しで、今日、コメントを出しているところの講師。
1:13:15	ここの管理ウダ紹介事業に採用しないかというような懸念につきましては、
1:13:21	コメントの吹き出しに書いてありますけれども、
1:13:25	評価 1 と同じベースではない、講師の燃料集合体からの荷重っていうのは、
1:13:31	衛藤。
1:13:33	分力として、0° 方向のかというと、90° 方向の風に見舞われ、
1:13:40	これが矢印、点線の矢印で記載されておりますように、それぞれ矢印の方に荷重が伝達されて、
1:13:50	そこで支持されますので、
1:13:52	この燃料市、沼津市、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:55	ヒガシをつけている燃料集合体からの荷重というのは、
1:13:59	今評価 1 の例えば④のところのバスケットプレート小 θ には採用しないということになります。
1:14:07	なので、考慮すべきものとしましては、
1:14:12	衛藤先ほどの 0° 方向に落下する場合の、
1:14:18	燃料集合体の範囲どう。
1:14:20	Iの質量と同じところを考慮すればいいということになります。
1:14:26	またカジユン値としましては、
1:14:28	必要な範囲は同じなんですけれども、荷重の方向が変わることによって、
1:14:34	実際この斜め方境界イオンに伝達される荷重というのは、 0° 方向に加速度が対応した場合の、 $\sqrt{2}$ 分の 1 倍。
1:14:45	約 0.7 倍になる、なりますので、0 分枝に水平加速度がそうした場合の評価に包絡されるという、
1:14:53	ふうに、説明を整理しております。
1:14:59	コメントNo.86 番に戻りますけれども、
1:15:04	コラム 86 番の質問ですけれども、コメントですけれども、グレーと医師とふれこみがある場合、評価そちらについて評価しているのかもしれないことということで、
1:15:18	絵とかはプリント資料の方で、
1:15:21	ウエートの評価を実施していくことがわかるように修正しておりますので、また後程ご説明させていただき、
1:15:30	コメントNo.87 番をお願いします。
1:15:33	コメントの内容は、タイロッド及びDマキノ評価していないのかっていうのがまず一つ目のコメントでした。
1:15:41	それにつきましては、ちょっとまだ対応との評価については不要であるということ、その説明資料に追記しております。
1:15:49	補足説明資料の別紙 2 の 25 ページをお願いします。
1:15:58	戸部椎野 25 ページの内容につきましては、連続した方が総務部等が採用することによって、図に記載しておりますように、飛ばす形、これ、
1:16:12	頭が後段積みになった部分やっております、
1:16:15	バスケットプレートに圧縮効力が生じますので、その実行方法を、
1:16:21	連結している。このタイロッドのところに生じる応力というのは、
1:16:27	大部分の技術協力にも、バスケットプレートが圧縮するので小さくなります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:33	ですので、森林タイプは補正変形せず、臨界防止上の変形は生じないということに記載しております。
1:16:43	同じくコメントNo.87 番に戻っていただきたいと思います。
1:16:50	87 番の後半の絵とコメントですけれども、色変更についても説明して欲しいというところでした。
1:16:58	疲労評価につきましては、ピン束構造規格には、アンケートに対しては圧力が作用せず貯蔵中の地震は会長に低下するのみであり、費用評価は不要。
1:17:11	ということが、ちょっと解説されております。
1:17:16	お米ナンバーの 21 番をお願いいたします。
1:17:23	総経理は入っているんですか。ちょっと先ほどの 87 番と関連するんですか。鳥居マッピングについて。
1:17:31	理想的には内部のプレートは泊としてという方向の加速度がそういう指導する方が、ある程度高さがあるものに対して成立するか疑問。
1:17:42	また、下半分のコメントのところにも記載されてるんだ、バラバラに動きたいなそのことを説明することということがコメントです。
1:17:52	その内容となる。
1:17:54	その回答方針としまして、
1:17:57	次に、馬場林檎からちょっとご説明してリーマン区に限るが対応しないということがわかるような説明資料を修正しております。
1:18:06	補足説明資料の別紙 2 の 35 ページをお願いいたします。
1:18:18	ページの 35 ページは、鳥居マーティンのところの説明をしております。
1:18:23	令和品は、下の図に示しますように、軸方向に重ねたバスケットプレート同士の計 5※印を拘束する部材となっております。
1:18:35	自己方法を拘束する対応分と、警報法則Ⅲマッピングにより、地震時に α ステップとプレートの内側部は一体となって運動します。
1:18:46	鉛直下方向加速度が作用した場合には、
1:18:50	バス停とプレート同士で荷重を伝達するため、品には、かじるは採用しません。
1:18:57	また、そういう方向加速度が作用した場合には、このバスケットプレートの内側部が一体となって、バスケットプレートの外側部、
1:19:07	外側半月のプレート人と接触する可能性はあるんですけれども、
1:19:13	軸方向に重ねたバスケットプレート内側部が均等に荷重を受けますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:20	バスケットプレート同士にずれ自体は層理ず、ビーマップに荷重は作用しないと。
1:19:26	従って李マキノ全然性に影響はないという説明を追求しております。
1:19:34	続きまして、コメントナンバー89 番をお願いいたします。
1:19:39	コメントNo.89 のコメント内容は、固定価格の評価を行っているかということで、予定価格の評価を遅く説明仕様及びパワーポイント資料に追記いたしました。
1:19:52	補足説明資料の、
1:19:54	2-26 ページをお願いいたします。
1:20:03	2 の 26 ページから固定価格の評価を追加しております、
1:20:09	表毎時としましては、別紙 2 の 27 ページの図に明記されております。
1:20:18	今、流動方向に生後加速度が作用した場合に、
1:20:25	左上の固定金具のところ、形状を拡大しておりますけれども、
1:20:31	この固定金具のうち、
1:20:34	この固定金具より上に位置するバスケットプレートが側部 180 度方向のバスケットプレートから荷重を受けます。
1:20:45	としては、この評価 1 から 1 が最も多くなるところに、荷重作用点を設定しております、
1:20:51	この赤い線で示してあるところ、
1:20:55	ここを、
1:20:56	下の図、括弧Bの評価モデルのところの説明しておりますように、
1:21:03	ウタガワ固定の方も地盤として、固定金具の曲げ応力の評価を実施しております。
1:21:14	コメントなん。
1:21:15	89 のご説明は以上になります。
1:21:19	続きましてコメントNo.90 をお願いします。
1:21:23	藤コメントの内容は、評価基準の三次元をわかりやすく示して欲しいということでしたので、
1:21:29	評価基準を参照元はポイント資料に追記しておりますので後程ご説明させていただきます。
1:21:36	続きましてコメントNo. 91 番をお願いいたします。
1:21:40	例年資金評価において、地震による荷重の方向、想像物のどの部分に作用するのかを 3 次的にウメキオチってというコメントですか。
1:21:50	お願いしまして、全委員評価において、中の鋼構造物の山に減額ばかりように、説明資料を修正いたしましたので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:00	別紙の 2-36 ページをお願いいたします。
1:22:07	2-36 ページの年次推移の所、ちょっと下モデルと、一応、次の 37 ページに示しております。
1:22:21	追加主担当左半分のになります。
1:22:26	今、地震時の評価ですので、荷重の作用の方法立ては、鉛直下方向の加速度が作用した場合の超過をここでは説明しておりまして、
1:22:39	つまり下側に加速度が作用します。
1:22:44	中性子遮へい材が側部に書いておりましてその領域は斜線でハッチングしているところになります。
1:22:53	ここの真ん中の位置ですねAA断面のところを切り出したのが右側の絵になります。
1:23:02	右側の絵は、前回ご説明した絵と同じになっておりまして、
1:23:14	この領域の中には、前年、
1:23:18	伝熱フィン等、中性子遮へい材、もう一つ、マスキング内の部材がございますけれども、
1:23:27	この三つが 1 塊となって、
1:23:32	左の図の鉛直した方の加速度を受けて、慣性力が作用するというモデルになっております。
1:23:39	それに対して、
1:23:41	この右の絵のAA断面のその評価 1 と書かれている、
1:23:47	溶接の維持ですね。
1:23:49	ここのところを、評価、
1:23:52	しているというモデルになります。
1:23:55	コメントNo.91 番の説明は以上になります。
1:24:00	ここまでで地震、
1:24:03	に対しまして、いただいたコメントに対する回答等回答方針をご説明させていただきました。
1:24:11	続きましてパワーポイントの方の資料を改めて、前のページから順番にご説明したいと思います。
1:24:21	パワーポイント資料の、
1:24:26	地震につきましては 12 ページからになるんですけども、ちょっと 11 ページから、
1:24:34	14 ページまでは、特に
1:24:38	コメント等を受けておりませんので、大きな事故は作ってございません。
1:24:44	15 ページのところをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:49	15 ページのところにつきましては、
1:24:51	以前のスライドにおきましては、
1:24:54	②、すいません、解析モデル及び解析手法のところ、②と③の特定兼用キャスク本体と③のバスケットのところで、
1:25:06	特有の応力PE型に対する冬のポールがあるという黄色発見つけておりましたけれども、
1:25:14	審査ガイドの確認内容としまして、ここら辺の解析モデルとか、解析手法に対する考え方が、
1:25:25	先行型式とは違うかどうかという意味では、違いはないということで、黄色ハッチングを削除しております。
1:25:33	一方で、
1:25:34	先行型式との比較というのを、右側の一番右の欄にありますけれども、
1:25:41	この間違いというのがもう少しわかるように、補足説明資料、すいません、パワポの資料の後ろの参考 2 の方で、
1:25:51	そこで情報ついでいただきます。
1:26:08	パワーポイント資料の 52 ページになります。
1:26:13	52 ページの、解析モデル及び解析手法のところ、前小坂市長の心配ということで、それぞれ比較を載せております。
1:26:23	このうち、カード乱用につきましては、いずれの
1:26:28	化成の型式とも同じ公告式で評価しております。
1:26:33	構造自体は、型式によって違うところはあるんですけど、
1:26:38	ピニオン型につきましては、1DPの方、69BC言い方と、同じ衛藤構造になっておりますので、
1:26:50	ぜひサポートしても皆さん言わないというところになります。
1:26:54	②の兼用キャスク本体につきましては、有限要素法を用いたパスポートによる評価を、水木 4 学では用いております。
1:27:05	同じく、先行型式としてHitz-B5 新潟につきましては、同じく 4、
1:27:12	営業プラス本体を有限要素法、パラスポーツを用いたり、または光学式で評価しているというところがあります。
1:27:22	同じく 1 期 60 日。
1:27:26	1ヶ国言い方につきましても、
1:27:29	地震の情報を米 3 メーター落下で代表させておまして、その 0.3 メーターナカノ評価ABAQUSコードを希望されているというところで、ABAQUSコードを使って評価するということに、
1:27:41	考え方としては、先行型式と大きな差異はない。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:46	考えておりますが、設計の時、違い自体は差異がありますので、
1:27:52	パワーポイント資料の続きと5ページのところで、その構造の差異の ところをご説明をしたいというふうに考えております。
1:28:01	③のバスケットにつきましても、
1:28:04	光学式引用型ではほぼ2で評価しております。
1:28:09	2、B5新潟につきましても、有限方法、場所を使ったケースと、あとは工 学式で評価しているにて、
1:28:19	ところがあります。
1:28:21	他の店舗株式につきましても合格しっきりとかせておまして、
1:28:25	いずれも考え方としましては、
1:28:28	同じ学識で評価しているというところに差異がないと考えておりますが、
1:28:34	当然バスケットの構造自体は、
1:28:37	カツキによって差異はありますので、その時間について、パワーポイ ントの続くページのところでご説明したいと考えております。
1:28:46	というのですが、実際、資料の52ページのところで、資料、
1:28:53	ケンコウカタチその最後の説明を少し情報担当。
1:29:00	いやパワーポイント資料の、
1:29:06	ちょっと16ページをお願いいたします。
1:29:10	16ページは、
1:29:13	特定兼用キャスク本体に対して有限要素法。
1:29:18	大文字とABAQUSコードによる評価の評価条件等、境界条件を説明し たページになります。
1:29:26	荷重条件としましては、まず水平地震力と鉛直地震力を組み合わせて 評価を実施しております。
1:29:34	ちょっと地震力については、上方向と審査方法の2ページを強化してお ります。
1:29:41	右側、荷重条件及び境界条件の図につきましても、代表して、鉛直運 営方法の荷重が作用した場合の荷重条件及び評価条件を示しておりま す。
1:29:54	荷重条件中身としましては、まず地震力によって生じる荷重と、地震力 以外による数がございますけれども、
1:30:04	地震力以外による荷重の考え方というのは、特に、
1:30:08	衛藤。
1:30:10	安野多田式によって採用できませんので、説明を割愛いたします。
1:30:14	地震グループのところにつきましても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:18	まず、ページ開いw呼ばれる内部収納物のうちの内側部と該当部 3ヶ所のバスケット及び燃料集合体の慣性力を、
1:30:29	濃い青色の矢印のところに舵を受けております。
1:30:34	IRのところにつきましては、内部収納物として外部区分 1ヶ所のバスケットと燃料集合体の慣性力を、
1:30:43	衛藤薄井緑色のスケジュールのところに荷重をかけております。
1:30:50	また、当会場円につきましては、
1:30:53	右側の境界条件の図に記載してある通りではあるんですけども、
1:31:00	今、この図で言いますと、そういう冷房を右側に加速度が作用しますので、私は右側に浮き上がって転倒するような形で運動をしようとしています。
1:31:13	その際に、
1:31:14	トラニオンの 270 度ババの、これ、この図でいうと左側の欄に、
1:31:21	オオノ、そのラインを予定しているうちのペーパー等で補正するんですけども、そのページにおけるヤスの一方、
1:31:31	つまり、上下方向の変位を拘束する条件を与えております。
1:31:37	ちょうど案内と接触する面となる。そこ行った点につきましては、
1:31:44	左、真ん中の図でちょっと拡大しておりますけれども、
1:31:48	0° から 90° の範囲のキャスク野地高校の変位を拘束する条件を与えております。
1:31:56	またK方向の法則面となる、そういったの側部の、
1:32:02	方、方の定員を、
1:32:05	真ん中の図で拡大しております。に記載の通り、この位置を拘束していくと。
1:32:11	いう条件を課しております。
1:32:14	次のスライド以降は、Headの加治今井不安WFIRで分部鍛冶はされているんですけども、その説明に繋がる。
1:32:27	説明したいと思います。
1:32:29	17 ページをお願いいたします。
1:32:33	17 ページは、
1:32:35	衛藤内部収納物による荷重の伝達経路がどのようになるかというところを、図を用いてご説明しております。
1:32:45	まず、バスケットプレートの外側部の 270 分のところ、
1:32:50	下の図で言いますと薄緑、いろんなどころの領域のバスケットプレート、
1:32:55	ここの荷重というのは、拡大図にありますように、
1:33:00	バスケット開発部からの荷重が、固定金具、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:06	に作用します。バスケット側のパネルに対応して、
1:33:11	その荷重が本田固定ボードに伝達される
1:33:15	固定ボルトは固定金具のキャスク側の固定金具と、
1:33:20	接続されてますので、
1:33:23	そこに伝達された後、
1:33:25	キャスク本体の切り欠き部のところに荷重が作用すると、というような伝達経路になります。
1:33:34	また、二つ目の山にな、になりますけれども、ファーストプレートの内側部からのパ受
1:33:42	真ん中の四角いパンフレットプレートの部分につきましては、
1:33:46	右側の図で拡大しておりますけれども、
1:33:49	直接バスケットプレート外国部に伝達されるのと、
1:33:55	あとは一部固定金具を介して、バスケットプレート外国部の 90 度のところに原発される。
1:34:03	形になります。
1:34:05	その荷重と、あとはバック系とプレート外側部 90 度方法による荷重、これらが二つ合わさって、キャスク本体内面に作用する形になります。
1:34:18	またバスケットプレートの外側部のうち 0 床とフィールド方法の荷重につきましては、
1:34:25	キャスター問題ない上にそのまま設置作業すると、というような形になります。
1:34:33	パワーポイント 18 ページ目をお願いします。
1:34:36	先ほどの荷重の伝達経路を踏まえて、ここでは、ABAQUSを用いたキャスク本体の荷重としてどのようにかけているかというところを説明しております。
1:34:51	一つ目の矢羽根ですけれども、バスケットプレート外側部 176 からの荷重、
1:34:57	希望で言いますとFIRなんてありますけれども、これはキャスク本体のティーパーティーに作用するさせております。
1:35:05	二つ目の山になりますけれども、ガスト本体内面に作用する荷重は、いろいろ方法では、
1:35:11	衛藤チーフが、これは非常に記載の通り、0° 方向のところでは、荷重としては燃料集合体 2 台分と、あとはバスケットプレートが急ぐ。
1:35:23	の荷重がこの前にされてる。
1:35:26	1 年で

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:28	Aブロックのところでは、燃料集合体 4 台、
1:35:33	あとはスケートプレート内側部、そしてバスケットプレート海食の荷重が作用すると。
1:35:39	さらに 90 度が近づいたブロックのところでは、
1:35:44	弁料 15 対 5 対運動、バスケットプレート満足分としてバスケットプレートの快速のバリューが歳出という形になりまして、
1:35:53	0 度方法では荷重が小さくて、90 の方法に近づくとつれて荷重がどんどん大きくなりますので、
1:36:02	内側部及び開発部 3ヶ所分のバスケット及び燃料集合体からの荷重、
1:36:09	FIWとしては、コサイン分布アンリユウとしての、
1:36:14	キャスト本体の来年 0 から 180 の場合に、えぐれて、
1:36:21	というような条件を設定しております。
1:36:27	続いて 19 ページをお願いいたします。
1:36:30	19 ページからは、計測に対する工学式による評価の説明となります。
1:36:37	まず、パケットのプレート講師を θ のうち、
1:36:44	すいません、バスケットプレートシーターの評価としましては、
1:36:48	まず強度評価上クリーンアップステッププレート 1 日に対して評価を行うこととしております。
1:36:56	右下の方にマスキングしてあるところに、形状の違いを載せております。
1:37:02	まず、このページとしましてはバスケット、曲げ応力が生じるバスケットプレートを敷いたとしまして、一応 1 から 3 を評価対象として選定しております。
1:37:17	その選定理由としましては、右側の四角枠のところに記載しておりますが、
1:37:23	評価 1、1 の選定理由につきましては、
1:37:27	燃料集合体の荷重をバスケットプレート更新が 1 枚で負担するという部位であることから、選定しております。
1:37:36	評価 12 番につきましては、
1:37:39	燃料集合体の荷重をバスケットプレートを新 2 枚で負担する部位のうち、最も板厚が実際、ところが、この評価 12 になるので、選んでおります。
1:37:51	また評価維持 3 につきましては、バスケットプレートforタダウチ、最も板厚が小さい。
1:38:00	ところとして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:01	この表開示 3 番を選んでおります。
1:38:06	続きまして 20 ページをお願いいたします。
1:38:09	10 ページは、バスケットプレート降水のうち、圧縮応力が生じる、ウェブ部、評価部位に対して評価を行っております。
1:38:20	まずは、そういう保護加速度として、0° 方向に荷重が作用した場合の、アースティック応力が生じるバスケットプレート講師として、評価益 4 を評価しております。
1:38:36	選定理由のところにつきましては、
1:38:38	先ほどちょっと補足説明資料の方でご説明したんですけれども、
1:38:43	評価 14 につきましては、座屈長さが最も
1:38:47	大きい長い領域ですので、紹介率 4 を選んでいる。
1:38:51	というところになります。
1:38:53	評価 1 号につきましては、燃料集合体からの荷重、その上側から 2—四、五千 4 体分の風を受けますので、
1:39:02	その表現希望センター、選定しております。
1:39:09	評価 1 のようなところですね。
1:39:13	コイケ 4 としましては、まずバスケットプレート内側部につきましては、8 分の 1 の質量を負担するというか、いうと、
1:39:23	もう一つは、燃料集合体として 1.5 台分、
1:39:27	これは評価 14 の上に、
1:39:30	志賀 3 ヶ所になりまして、一つの講師に対して 0.5 台分の燃料集合体の荷重を負担するという考え方から、1.5 歳を分荷重として与えることとしております。
1:39:44	この 1.5 台分の妥当性につきましては、右側の図、
1:39:50	に記載しておりますように、
1:39:53	まず業界事業 2 課、作業する燃料集合体の荷重としまして、
1:40:00	評価条件としましては左側の評価モデルに記載してありますように、
1:40:07	燃料の工事が綺麗に上に積み重なっている条件を判定しまして、
1:40:15	燃料引退分の荷重が、
1:40:18	右側の工事と左側の防止で半分ずつ荷重を負担しますので、0.5 タイプの荷重が 3 段分ということで、1.5 という条件を設定して、
1:40:30	一方で、実際のポケットの形状といいますのは、右側の図に示しますように、
1:40:37	2 段目と 3 段目の講師が左側にずれております。
1:40:43	これによりまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:45	2番目と3番目にある燃料15歳からの荷重を負担する割合というのは、評価14。
1:40:54	同じ4番目にある、左側の方式の方で作業を負担して、
1:41:00	右側の講師である協会事業につきましては、
1:41:04	過敏なのか、少なくなると。
1:41:08	なりますので、
1:41:09	最終的に1005台分の質量の負担する評価モデルというところを設定しております。
1:41:19	続きまして21ページをお願いいたします。
1:41:22	イデについては、当県特定プロジェクト方式で評価をしているところの固定種と固定ボルトの評価の説明になります。
1:41:32	固定金具の評価としましては、
1:41:35	左の図で示します、
1:41:40	した方法に荷重が作用した場合に、この右上のところですね、この構図
1:41:46	上のところにあります工程管理のところの、
1:41:49	この赤で示す評価断面のところに生じる、業務力を強化していると、先ほど拙速説明資料でしたね、説明しました内容と同じになります。
1:42:00	また、
1:42:01	同じく内装、
1:42:03	ふぐのバスケットプレートが、右下の、
1:42:08	低角のところに荷重が作用するんですけども、こちらにつきましては、
1:42:13	その荷重が固定金具を介して、結局、その下の下にありますバスケットプレートの外国部に伝達されるため、
1:42:22	この右下のデータのやつの健全性に影響はないというふうに説明をお聞きしております。
1:42:28	また固定ボルトの評価につきましては、
1:42:31	その右の図に示しますように、
1:42:35	4.5度方向に落下した場合、
1:42:38	その条件養育テール
1:42:40	もうほぼ、
1:42:43	加速度が作用する方向と逆にある固定化など、
1:42:47	のところにある固定ボルトの評価を実施して参ります。
1:42:53	この固定ボルトにかかる荷重としましては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:56	右側のバスケットプレート外ストップ部とパペットプレイズ左側のバスケットプレート対策部分箇所からの荷重が、このポイントだけで支持するという保守的な条件を設定しております。
1:43:10	続きまして 22 ページをお願いいたします。
1:43:13	22 ページは、評価結果になりますが、ライオンの評価結果につきまして、修正箇所はありませんので、
1:43:21	大きなところありませんが、評価基準値のところにつきましては、このサイショゴトウセキして欲しいというコメントがありましたので、中に、
1:43:30	及びQ3 のところで参照元を追求しております。
1:43:36	ニーズ。
1:43:40	続きまして 23 ページをお願いいたします。ストーカペーパーの 3 分の 2 になりますけれども、
1:43:47	これはもう、ちょっと部位を評価して、中身としましては、大きな変更はありませんが、区分という欄を設けましたのと、
1:43:57	あとは評価部位として、バスケットのところに固定金具と固定ボルトの許可を今回追加しましたので、評価結果も設置しております。
1:44:09	24 ページをお願いいたします。25 ページは、もともと、
1:44:15	疲労評価の結果記載されていたんですけれども、先ほどコメント化率の方で回答しました通り、江藤、トラニオンの明示分に対して広川不要と考えておりますので、評価の結果を削除しております。
1:44:32	あと、24 ページにつきましては、衛藤。
1:44:36	今このスライドされている記載内容に、前回からの変更はありませんので説明は割愛させていただきます。
1:44:43	以上実験に対するコメントに対して、パワーポイントの修正した箇所についてご説明させていただきました。ご説明は以上となります。
1:44:55	規制庁オオツカS、
1:44:57	では質疑の方に移らせていただきたいと思いますけども、
1:45:01	何か質問、
1:45:03	とありましたらお願いします。
1:45:15	あと、規制庁のツカベですが、コメン盗難、45 度の評価、斜めの評価。
1:45:24	をしていただいた。
1:45:26	86 番ですか、コメントナンバーで言うと 86 番で、
1:45:30	補足説明資料で言うと別紙の、
1:45:33	2-24 ページで、
1:45:36	ご説明されている内容で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:41	藤真野、岩井伊井たいことは、何となく理解をしたんですが、
1:45:48	別紙 2 の 24 ページ目のその最初のその、
1:45:52	説明が、
1:45:54	多分、物理的には正しくないかなと思っけていて、
1:46:00	評価上そうしていう仮定で評価します。それがご指摘なんですということ、
1:46:09	が、全体としての説明なんだと思うんですが、
1:46:12	45° で入ったとしても、荷重はそこに作用しないというのは、多分、
1:46:20	物理的にはありえないので、
1:46:24	全体のは、外側で反力として入ってくるので、
1:46:29	当然力ば採用すると。
1:46:32	思うんですけど、
1:46:34	最初にそこはどうお考えですか。
1:46:38	はい。日立造船の宮城です。今、コメントいただいた点につきましては、
1:46:46	この
1:46:47	斜めに落下した場合の、この真ん中のこの四角いはステッププレートの 大分分ですね。
1:46:55	こちらの、左の斜めの面等、右の斜めの面、
1:47:00	こちらが、
1:47:01	それぞれ 0° 方向の外側部、
1:47:06	IV、90° 方向の学部で荷重が支持されますので、
1:47:13	今この図示しているように、
1:47:16	この評価 140 に荷重は伝達されないというふうに理解しています。
1:47:23	唯一、
1:47:25	評価 142 荷重が作用するというパターンは、この 0° 方向と 90° 方向 の、
1:47:33	その外国分の指示がない場合ですね、良いそういう真ん中にひし形 の、
1:47:38	一型というか近くの
1:47:41	バスケットプレート内腹部が、
1:47:44	45 度に傾いた位置にあって、45° のところの角のところ、唯一支持さ れるというのは、その菱形の変形を許容する場合には、
1:47:56	この評価位置のところ荷重が伝達されるのではないかというふう には、
1:48:00	考えておりますが、今

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:04	90度ずれの方向に、スプレッドプレートの外食部がおりまして、あそこで荷重が支持されますので、
1:48:12	この評価1のところには赤字は伝達されないというふうに理解しております。
1:48:17	以上です。
1:48:20	Highツカベです。衛藤。
1:48:23	今外側部とナカノ、バスケットプレートが変形しない前提ですね。その場合当然、面で受けるので、
1:48:35	その特定のポイントで、
1:48:38	0で全部受けますという説明には、
1:48:42	他の荷重は0度とおんなじですということにはならない気がするんですけど。
1:48:47	そこは物理的に正しいですかね。
1:48:55	すいません。日立造船の南です。今の御説明のところ、ちょっとあのイトウ理解できなかったのもう一度ご説明をお願いしてもよろしいでしょうか。そういう意味で、バスケット
1:49:05	プレート、中川も外側も変形しないで、
1:49:09	今の場合でいうと、
1:49:11	完全に密着するような形で、
1:49:14	つくということを想定されていると思うんですけど。
1:49:18	その際、その中に入ってるものをした力っていうのは、
1:49:22	反力として全体で返ってくると思うので、
1:49:26	当該評価点4についても、
1:49:30	当然荷重が作用しないですかという質問です。
1:49:43	気象庁全く、
1:49:51	の
1:49:56	ということです。
1:49:58	すいません、日立造船の宮城です。
1:50:01	荷重自体は、
1:50:07	評価1-4のところには作用する荷重としましては、この矢印で書かれている境界っていう、
1:50:20	4-4の右上の方向にある三つ分のこの
1:50:25	年度を、
1:50:26	からの荷重が、
1:50:29	今斜め方向に運用力が分散されてますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:34	ルート 2 分の 1 番、約 0.7 倍の分だけは、この評価 1 行のところに荷重が作用するというふうに理解しております。
1:50:46	きちっとですね考えていただきたいんですけど、その数、三つのものだけが、
1:50:52	その物理的に荷重が行きますなんていうことが、
1:50:55	本当に、
1:50:56	あるとお考えなんですかという、単純な質問です。
1:51:02	そういう仮定を置いて、その評価、
1:51:05	をしますということは理解したので、
1:51:08	そこに荷重がは、評価点 4 には行きませんという説明が物理的におかしいんじゃないですかということだけをしています。
1:51:19	三井造船の南です。後、コメントの意図をちょっと確認させていただきたいんですけども、今、我々の説明としましては、
1:51:30	90° と 05 にある。
1:51:33	バスケットプレートが利息分。
1:51:35	この面、面が、
1:51:38	まっすぐになっていて、内藤国分からの果樹
1:51:43	つまり内側部のバスケットプレートの面と綺麗に一致してるという仮定を置いた上では、こちらの説明は理解できるけれども、
1:51:53	実際はそうじゃないんじゃないかという前提で今のご質問されてるということでしょうか。
1:52:00	規制庁ツカベサノ。はい。先ほどからそういう趣旨で話しています。
1:52:09	します。一同、持ち帰り検討させていただきたいと思います。
1:52:17	はい。衛藤ん中で話していただいて、
1:52:21	私が言わんとしてることが、
1:52:24	おかしいのであれば、そう言っていただいても結構ですけど。
1:52:28	多分この最初の文章ってどう考えても、正しくないと思うので、
1:52:35	鬼頭さんヨシダです。江藤。確認別紙 2 の 24 ページの要は 3 行目にあるんですかね。
1:52:45	戸部大下に作用しないためって、ところが正しくないよねという、
1:52:52	ゴトウですか。はい、そうです。
1:52:55	はい。
1:52:56	いたしました。
1:52:59	はい。その上なんてなんですけど例えば、そもそも
1:53:05	0 度の時、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:08	090 度の時に、
1:53:10	分担される。
1:53:12	のがそれぞれ、それぞれ 1.5 体であったりみたいであるという、
1:53:18	説明で、このパワポの 20 ページ目とかに書いていただいていると思うんですけど。
1:53:26	これっていうのはその評価としては、
1:53:31	本社オリジナルで今回しましたということなのか、それとも何か、
1:53:37	こういう手法がほかでも使われている例があってというのは、どちらなんでしょうか。
1:53:46	当然のミナミです。他社の例として、このような評価を行った、うわ。
1:53:54	そうです期待統制も減りです。細かい評価の方法までマスキングされている箇所もあって確かではないんですが、
1:54:04	これと全く同じというのではないというふうに理解してます。
1:54:11	はい。
1:54:12	はい、わかりましたって。
1:54:15	そういう意味で、
1:54:17	類似と言ったのは、そのキャスクという意味ではなくって、その一般的な工学的な設計で、
1:54:25	このようなことが、このような形で評価っていうのは、
1:54:29	され、
1:54:30	しているんでしょうかという質問。
1:54:34	はい。バスケットの構造な格子の構造設計の違いは、
1:54:40	フクナガ山としてこういう構造に対して
1:54:45	春名、狩野、こういう組み合わせの構造に対して、マーケット圧縮強化するっていうのは、
1:54:51	基本的には、バスケットの評価の中では、
1:54:54	我々市にかけては、今まで実績があるというふうに理解してます。
1:55:00	ただその設定の違いによる差っていうところでどこまでやってるかっていうのは詳細が、我々も分析されたこともあって、完全に一致してる、そこまでは、
1:55:10	各自でおりません。
1:55:13	はい、わかりました。どちらかというとその体数の考え方ですねかかる。
1:55:19	台数の考え方をこういう形で、
1:55:23	分配して、
1:55:25	評価してる例があるかという趣旨で聞きました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:31	はい。
1:55:33	はい。続いて、同じこの補足説明資料の2の、
1:55:39	25ページ目の、
1:55:41	そのタイロッドのところの説明。
1:55:45	なんですがあって、
1:55:47	これ、理想的にその延長工法方向のみを考えた場合は、
1:55:53	この説明でいいと思うんですが、ちょっと
1:55:57	図を見て、
1:55:58	水平と垂直外、
1:56:01	一緒に入った場合っていうのは、
1:56:04	逆に言うと地力が、そのボルトのところに、
1:56:08	かかる。
1:56:09	どう見えてしまうんですけど、
1:56:12	そこっていうのはどう、どうお考えなんでしょうか。
1:56:18	自動性のミナミです。そういう方向の加速度が作用した場合には、このバスケットの設計思想上、K方向のずれを抑えているのは、リーマン品の方で押さえておりますので、
1:56:33	その対応と自体には、
1:56:36	径方向の荷重は作用しないというふうに、
1:56:39	をしております。
1:56:41	以上です。
1:56:43	はい。ばっかりして、
1:56:46	ちょっとその構造物としての、
1:56:48	強度、どこで見ているかという話に、
1:56:52	なると、評価対象とすべきかどうかというところだと思うんですけど。
1:56:59	当然、プレート状のものが入っていれば、であればですねバスケットが、
1:57:05	そこは
1:57:09	完全に壊れてしまう、バラバラになってしまうということは、ないと思うのでいいんですけど。
1:57:15	御社の場合、そこが特殊な設計なので、そこをどう考えるのかなというのは、
1:57:20	湿気になっています。
1:57:26	はい。ちょっと今のコメントですが、
1:57:30	何かその点についてコメント。
1:57:33	というか、今の段階でお考えありますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:38	その拳強度部材として、
1:57:41	評価すべきか否かですけど、
1:57:57	機動性で少々お待ちください。
1:58:43	もしもし。
1:58:45	はい。
1:58:47	日立造船の南です。
1:58:49	江藤梨衣マップ品の、
1:58:52	評価が必要かどうかというのにつきましては、別紙の感じてないみたいですけど、
1:59:02	はい。
1:59:05	徹底した自動選別がありました。
1:59:11	はい。規制庁松谷です。小石さんこちらの音声届いてますか。うん。
1:59:18	これ 3、
1:59:21	うん。
1:59:23	うん。
1:59:30	日立造船さん説明していただければと思います。
1:59:34	うん。はい。深見です。市の新野さん、構わないです。ある程度ね、例えば規則の五条の 3 号とかで
1:59:47	PP上の話っていうわけではないですけど、封印とか何とかをちゃんとせんしなさいってということで、もうすでにヤマネホデさん聞こえてますから、そこから言うとなあんまりないような気もするんですよ。
2:00:01	うん。もう規則の中にちょっとそういう意識を持って、要はどこどこwinできるように、として、してますよっていうのは、ちょっと宗さんって言えば一番ありがたいかなっちゅう話ですね。
2:00:21	はい。日立造船さんの説明続けてください。
2:00:25	はい。北井造船の南です。江藤。ページ 2-35 ページのところに、Dマックリーの評価の考え方を記載しております、
2:00:34	Dマッピング明日、水平方向に加速度が作用した場合につきましては、
2:00:40	まず、このバスケットプレート自体は、ワーキングで、方向に位置ずれが生じないように、
2:00:50	実行方法はマイロードで連結されているので、その内側部のプレート自体は、1 塊 1 として、運動をしようとする。
2:01:02	します。
2:01:03	右側の、例えば、
2:01:07	バスケットプレート外装部分。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:10	等、水道法の加速度が作用して、ストップのプレートが右側に運動して、右側のバスケットプレートが側部と接触したとしても、
2:01:23	10分方向に重ねてバスケットプレート、ナイトウ区分のところが均等にかじを受けますので、このリーマン品が入ってるこの1時代に、
2:01:35	ずれ、トレイト段同士でずれは生じないというふうに考えておりますので、衛藤梨衣マッピングを、荷重が作用しないというので、
2:01:45	鳥居マップ自体の評価は要らないというふうに考えております。
2:01:51	日立造船の方で考えていると、ビーマップに対して考えているところは今のご説明した通りとなります。
2:01:58	以上です。
2:02:00	はい。規制庁宗です。わかりますで、そういう意味でその水平と垂直を完全に分けて考えられているので、
2:02:09	ここがどうかというのが気になっている点です。
2:02:15	です。
2:02:17	どうする。
2:02:20	でちょっと1点確認したいのが、今回、
2:02:24	プレートの中に、バスケットの中に、
2:02:31	コンパートメントか何かを、
2:02:34	入れる設計になって、
2:02:37	いるんでしょうか。そう意味で
2:02:39	他に、横方向の動きを拘束するものっていうのは、
2:02:43	入るんでしょうか。
2:02:47	自動線のミナミです。この日月に4型につきましては、径方向を拘束するのは有井マッピングだけでして、コンパートメント等はありません。
2:02:59	以上です。
2:03:07	廃棄施設を使うわけです。
2:03:11	ちょっとどこかの資料で、
2:03:14	コンパートメント、衛藤パークの資料の、
2:03:19	46、その拘束しないという意味では、中に収納物、
2:03:25	とバスケットの間に、
2:03:28	ものは入る。
2:03:31	ということです。
2:03:32	はい。北井郷線の目的で今、パッと46ページに実際に内容の細かいもの、これはそうですね。空間に絞ろう。
2:03:43	ある人が挿入されてる予定はされてない。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:49	これもし、プレートを支持するものでもないということです。
2:03:54	わかりました。PHITS52 の方には、
2:03:58	パターンがあるけれども、それに該当するものは、
2:04:01	1 つ。
2:04:03	24 にはないということです。
2:04:06	本当のことはいいです。
2:04:12	はい、わかりました。あと、ちょっと細かいところで
2:04:16	パワポの中でプレート 1 と 2 の評価。
2:04:21	これと 1 の方が厳しいのでというご説明を追加していただいたんですがその内容っていうのは、
2:04:28	補足説明資料上は今どっかに反映されていいですか、補足説明資料を見ただけで、もうそこがわかるようにしておきたいという趣旨です。
2:04:39	焦点の宮城です。今ご指摘いただいた点につきましては補足説明資料には、どちらのプレートで評価しているかという記載。
2:04:49	をしておりますので、コメントの意図踏まえて、資料に追記したいと思います。
2:04:55	以上です。
2:04:58	はい。規制庁大塚です。はい、わかりました。
2:05:04	本多。
2:05:07	原子力規制庁のトガサキですけど先ほどのちょっと田井ルート鳥居マップの関係なんですけど
2:05:16	別紙 2-20 ゴトウ、2-35。
2:05:21	で、これとお話聞いてると、2、2-35 の方で、
2:05:27	結局このバスケットプレートは、積み上げるタイプになってますけど、これ一体ものとして、そ外側のプレートにバーンと当たる可能性はあるんですけど、
2:05:40	それぞれの
2:05:43	プレートは、それずれることはないというお話だと思うんですけど、
2:05:49	そうであればその一体ものとして、
2:05:55	考える前提として、
2:05:58	別紙の 2-25 ページの、
2:06:00	このタイロッドの締め付け力、
2:06:03	ていうのが、大事になってくると思うんですけど。
2:06:06	これはだから、ちゃんとこの締め付け力が確保されるっていうのは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:12	ど、どこかにちゃんと言ってもらわなければならないと思うんですけどそれについては、
2:06:18	いかがでしょうか。
2:06:24	衛藤専務です。補足説明資料等の方にそのような記載を追加したいと思います。
2:06:30	規制庁の藤羽咲です。だから、
2:06:34	補足説明資料だけでいいのかちょっとわからないんですけど、この今回、このキャスクの特徴というのは、
2:06:44	そのバスケットプレートが、この下から上までこと積み重なるっていうのが特徴だと思うんですけど、それが別にバラバラに動いてもいいっていうのであれば、
2:06:56	そういった評価をやらしてもらえばいいんですけど、これ一体物として扱うというのであれば、その一体ものになるような、その設計とか、
2:07:05	実際の運用でカバーするのか、締め付けの力ってのをカバーするのかもしれないんですけど、そういうのをちゃんと申請書上どっかで言ってもらわなければならないと思うんですけど、いかがでしょうか。
2:07:23	添付資料の方がアップしたわけ。違う。
2:07:29	規制庁のトガサキで、退路と対ロッドではなくてあくまでもりいな品で、ずれを防ぐんだっていうのであれば、タイロッドの方は、
2:07:40	何の条件も、締め付けがなくても、Dマッピングで水平方向が抑えられるってことになると思うんですけど。
2:07:48	先ほどの説明だとどちらかというとそのタイロッドの方でちゃんと締め付けるから、
2:07:54	摩擦力とかもあって、
2:07:57	横にずれないっていう話のが、
2:08:01	大きく変わったように思えるんですけど後、またいるそうではなくてタイヤで締め付けても、その滑る可能性があってもいい品がないと。
2:08:11	ずれてしまうっていうのであれば、ピンの方も、
2:08:15	ちゃんとその一体物として扱う条件として、どっかで歌ってもらわなければならないと思うんですけど、いかがでしょうか。
2:08:25	実態像という目的です。
2:08:27	我々の設計の考えとしましてはサカイゴトウと、まああのタイプだけで、プレートの横のずれっていうのが抑えられてるわけではなくて、それはビーマ日、両方、必要なものと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:41	1人一体の構造物として提供するという意味で必要なものが設計にしておりますので、その点の記載についてはこれからちょっと検討させていただきます。
2:08:51	はいよろしくお願ひしますもしそれがタイロッド鳥井マッピングは、
2:08:59	そういうふうな設計条件として、入れない場合はこれ全部バラバラで動いたときの評価っていうのが必要になると思いますので、
2:09:08	どちらかの説明でいくのかというのをちょっと考えてもらいたいと思います。
2:09:14	あともう一つ、これをちょっと前も確認したと思うんですけど、
2:09:19	2-35の、右下の図の一番下の部分っていうのは拘束されてないっていうふうに、
2:09:29	考えてよろしいですか。だからそのままそのスライドして、
2:09:32	須貝国分にぶつかるといふふうに考えてよろしいですか。
2:09:39	日立造船の南です。ご理解の通りでして、このバスケットプレートのない国分というのは、細江さん外マーケットプレート内足だけで一体ものとして、このキャスクの中に挿入されますので、
2:09:53	底部のところで、キャスク本来のところ行つたとかと連結はされておられません。以上です。
2:10:01	はい。規制庁の所採決わかりました。
2:10:05	あとちょっと何点かちょっと確認したいんですけど、まずPAR等の資料ですね、パワポの資料で、
2:10:18	すいませんちょっと追加、追加していただいた、16ページですねこれフクイ、これさ、30円にちょっと説明していただいているんでありがたいんですけど、ちょっと確認なんですけど、
2:10:32	ここの
2:10:35	まず、図2、青、青のエリア等、黄色いエリアがあるんですけど、
2:10:42	この青のエリアっていうのは、
2:10:45	この図の右下のところで言うと、
2:10:50	枠が書いてあるところで、横と
2:10:55	上ですね上の荷重がかかる部分があるんですけど、
2:10:59	これが上に荷重がかかる部分で、
2:11:03	横の部分が黄色というふうに考えていいんですか。
2:11:08	はい。日立造船の南です。ご理解の通りです。
2:11:12	規制庁トガサキ輸送する等、
2:11:16	その上の方にかかる荷重というのは、これだと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:21	輪っか上っていか高そうですね上の方にかかるのはわかるんですけど、
2:11:25	横のところってというのは、
2:11:28	右の下でいうと、行く間W、
2:11:33	の部分が、何か知った2、
2:11:38	一番下のところにかかるってということなんですか。
2:11:42	このちょっとFDWの横の部分というのをちょっと、
2:11:47	わかんなくてその黄色液位ロムごくわずかなエリアになってるので、このちょっとイメージがちょっとわかんなかったんですけど。
2:11:55	決めてると。
2:11:57	すいません一つ条線のミナミです。
2:12:00	当然こちら側の説明の意図、間違い、理解も間違えておまして、
2:12:08	当県というのは、3角とか、その場でできてるこの記号のところですね、これが境界条件で、移動を止めてるところになります。
2:12:21	タッフの総合インターのところ、
2:12:24	新居衛藤三角でいいますと、左向きの三角が二つ、CHASTEのその右の方についてると思うんですけども、
2:12:33	この用意を拘束しているのが、拡大図でいいますとオレンジのこの面、
2:12:40	この面の位置を移動しないよう、
2:12:44	右の図でいいますと右方向に移動しないように拘束している条件を課しているのがこのオレンジの位置になります。
2:12:52	一方で、今ご説明ありましたそのFBWってというのは、
2:12:57	底部の
2:12:59	中性子遮へい材が、
2:13:04	病院、
2:13:05	からの、
2:13:06	荷重水平方向の風、そして、このFBWという荷重が、
2:13:12	右側の矢印として仮定として書かれているという、そういう
2:13:19	記号の意味になります。
2:13:23	規制庁のトガサキそうすると何か真ん中の3次元の図ってというのは、拘束条件能はあれですか。はいを示してる図なんですか。
2:13:35	日立造船の南です。ご理解の通りでして、拘束条件を与えている範囲を、この色をしているハッチングの領域を拘束しているという意味になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:48	以上です。規制庁のトガサキです。わかりますじゃちよつと真ん中の図にそういう拘束条件っていうのがわかるような記述をお願いしたいんですけど。
2:13:59	いかがですか。出野ミナミです。承知しました。説明をいたします。それとですね、肝心の高力FBWというのは、
2:14:12	これがちよつとよくわかんなかったんですけど
2:14:15	これは、
2:14:18	あれですよ。
2:14:21	鉛直と水平の地震力があって、鉛直の場合は、
2:14:26	わかりやすいんですけどその推計の場合っていうのは、
2:14:31	ここの導体部分というのは、
2:14:34	矢印で緑とか青で、FIWっていうので、
2:14:40	荷重がかかるんですけど、
2:14:42	FBWにはどういう形で力が加わる伝わるんですか。
2:14:51	需要は経済だけなんですか。
2:14:55	造船のミナミです。このFBWというのは、底部の中性子遮へい材の科学力を、この記号で説明しておりますので、
2:15:07	そういう方向に果樹加速度が作用した場合の、
2:15:11	このLEWというのは、
2:15:16	WEB中性子遮へい材が入ってるこの領域の中の、右側のメックのところを荷重として採用するということになります。
2:15:26	以上です。規制庁のトガサキさんはわかりました。そうするとあれですねさ
2:15:32	胴体部分については先ほど説明があったように、
2:15:38	ブロック、バスケット型一体ものとして、それが全体がずれて、
2:15:44	インフラWとして、
2:15:47	力が均等にかかるっていうそういう理解でよろしいですか。
2:15:53	はい。日立造船の南です。ご理解の方です。
2:15:57	一応補足しますと、均等というのは軸方向に対しては均等にかけておりますが、
2:16:05	05 方向等 90° 方向では、荷重の大きさが異なりますので、このスライドで説明したように、主方向に対しては文法を持たせているという条件にしております。以上です。
2:16:17	はい統括部長わかりました。
2:16:19	あと補足説明資料の 21 ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:27	供用状態D能勢の時の疲労評価の説明は、これで理解できるんですけど、
2:16:35	真ん中の方に日本容器に対しては、その平尾評価が求められているって書いてあるんですけど、今回
2:16:45	メネジむの分はいや、いらないうことでパートから戻されてるんですけど、この容器の本体の部分についてはどういうふうにお考えなんですか。
2:17:00	工藤線のミナミです。容器本体の部分につきましては、真木架空に、
2:17:07	従った評価という意味では、
2:17:12	今回の三つ、
2:17:15	一風評価の対象としている、一次蓋の密封シール部と一次分と見込んでいるのは、すみません規格で求められてないので、蓋ボルトに対しては、
2:17:28	規格に従うのであれば、評価は有というふうに理解しておりますが、実質、地震による荷重は十分小さいので、
2:17:41	ちょっと今現時点では評価を記載していないという形になっております。
2:17:47	以上です。
2:17:49	今日は規制庁のトガサキです
2:17:52	密封入戸要件ってのはまだ他の評価ではその密封
2:17:58	境界のところとか、
2:18:00	負担の分とかですね、を評価されたりとか、
2:18:04	してるんでそこもやらないとこやらなくていいという理解なんですか。
2:18:12	うち土地造成の宮城です。市町村お待ちください。
2:18:43	日立造船の南です。
2:18:45	密封容器本体、どうですとか、一時豚とか、三つ。
2:18:53	機能を持っている部材については、
2:18:57	規格としては疲労評価を求められておりますので、そのうち評価については私決しての方で、詳細にご説明するというふうに考えております。以上です。
2:19:09	規制庁のトガサキず
2:19:12	黎明チームは、
2:19:15	必要がないのに、最初説明していただいていたんですけど、日本協会は必要があるのに、今回説明しないで、型式指定のときに説明するというちょっと、
2:19:26	整理がちょっと理解できないんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:36	全戸で1人、
2:19:41	塾だと。
2:19:45	不動産のミナミです。
2:19:48	土地造成と、もともとトラニオンのメネジ分のところだけ機能評価をしていたのは、センコー、
2:19:56	私のところで、そこだけ評価されていたからというので、戦後になって、
2:20:04	機能評価の対象部位を絞っていたというところが実際のところになります。
2:20:11	規制庁のトガサキです。いずれにしても、密封容器に対して、
2:20:16	必要なか必要じゃないのか、疲労評価がですね、必要があれば、
2:20:22	どう、どういうふうにされるのかという説明はさしていただきたいと思います。
2:20:32	よろしいでしょうか。
2:20:38	自動性のミナミです。了解しました持ち帰り検討いたします。
2:20:44	はい。それとあと、
2:20:47	いい点だけなんですけど、2-37ページの、
2:20:55	小令和、冷熱品の表、評価をここに追加していただいたのは、結構なんですけど、鉛直方向の、このレンゲツ品の評価位置っていうのが、数2-37の、
2:21:11	この濃度分の溶接だるっていうのがあるんですけど、
2:21:16	水平方向だとちょっとわかりやすいんですけどその鉛直でここの\$が、
2:21:23	評価されるっていうのは、
2:21:25	どういう理解で、特に36ページのAですね。
2:21:33	面積ってのはどこの面積のことを言ってるのかっていうのを教えてもらいたいんですけど。
2:21:44	はい。一つの線のミナミです。
2:21:48	面積の例の箇所といいますのは、
2:21:53	別紙2の37ページにある図の、
2:21:57	と右側のAA断面と書かれているこの図の、
2:22:02	電熱品の両端をそれぞれ、回答が、あとは胴側で、溶接で、
2:22:10	想定されているんですけども、
2:22:13	この溶接の形状の、
2:22:17	一番
2:22:20	筑波でしょ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:22	何ですかね、そういう処理といいますか、評価として、このためで見た場合の評価の、
2:22:31	評価する。
2:22:33	なんて言うんすかね。
2:22:34	なんか、長さといいますか、
2:22:37	下地造成の樋口でございます。ちょっとご説明させていただきます。
2:22:41	土佐、今 37 ページの左側の図面、図の方ですね、伝熱フィン侵入範囲と書いておりますけれども、これが前月品が入っている部分の高さになります。コーリング自体の長さになります。
2:22:56	これのA断面がそのA断面と書かれているところがいいんです。ノザキというのは、溶接している三角形のA棟長先方底辺を、
2:23:07	その長さで、一般的には溶接部の評価はこのバツで行います。園田津野幅が五味であるということで、掛ける前月比の長さで連立品溶接部のオダフクマのドアツ一部の軸方向の単位、
2:23:26	長さ当たりの面積というものが計算されるということになります。
2:23:32	規制庁のトガサキそうすると野田IIーあずさ×冷熱貧農館野中里さんですか。
2:23:42	そういうことになります。
2:23:45	それで、それが、その全体がずれる、ずれるとか上下方向に、
2:23:52	ずれる間瀬せん断みたいな形の応力を、
2:23:56	考慮するってことですか。
2:23:59	はい。ありがとうございます。ちょっとそこがちょっとわかるように、ちょっと追記をお願いしたいんですけど。
2:24:12	図面の方の表現方法を変えるというような形でよろしいでしょうか。そうですね。図面でもいいですし、の、
2:24:23	面積のものを求め方。
2:24:26	もうかそこです。
2:24:29	補足してもらってもいいんですけど、
2:24:34	正直言っていいですか。
2:24:36	はい。ではこの求め方に関しては、どういうふうに求めたかということを追記させていただきたいと思います。
2:24:48	はい。お願いします。
2:24:50	はい。ありがとうございます。あ、すみませんあともう1個だけちょっと
2:24:54	隣御のパワポの授受 17 ページの、あと何もなくて固定金具の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:02	ところろうなんですけどこれこの図をつけていただいて大分わかったんですけど、ちょっと左の方に、
2:25:12	図があって、
2:25:14	緑の矢印が、上から2番目の方なんですけど、そこがちょうど、
2:25:22	このよ、溶接部能ところ。
2:25:25	新名下線が引いてあるんですけど実際そういう、何か切り込み溶接の切り込みがあって、そのの、
2:25:34	と溶接の、
2:25:35	接続部分に力がかかるってことなんですか。
2:25:42	少々お待ちください。
2:26:17	鉄道線のミナミです。
2:26:19	このFIRというのは、
2:26:27	落ち着けば、
2:26:29	この固定ボルトと同じ子を向いてる米。
2:26:33	そのの面に対して、FIRの荷重がかかっているというところで、この真ん中の面の真ん中の位置に希望を記載しております。
2:26:44	日立造船の木口でございます補足させていただきます。先ほどご質問いただきました、この角が切れてる部分っていうのは、溶接している部分を示しております、
2:26:56	ここの部分を意図して、この矢印をつけているわけではございません。
2:27:01	規制庁の土佐、それはわかるけど上から二つ目の矢印なんですけど、
2:27:08	実際に何か力の方向としてはそういう方向にかかると思うんですけど、それをだからどこで受けるかなんですけど、
2:27:17	母体部母材部分等、溶接部分で受けるって、それでちょうど力が働くのは溶接部と母材部分の境界だというふうに考えていいんですか。
2:27:53	ちょっと、うん。
2:27:57	じゃ別何か
2:28:00	そのんぼねじのつけ方が一長くお変なんじゃないかなっていう気がしたんですけど実際違う力が働くところっていうのは、母材なんじゃないかなと思ったんですけど。
2:28:11	それでまず上そういう表現なっちゃっているだけなのか、もう本当にそういう構造になってるのかっていうのをちょっと教えてもらいたと思います。
2:28:30	少々お待ちください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:28:48	比較造成の樋口でございますちょっと念のため構造のご説明をさせていただきますてもよろしいでしょうか。
2:28:54	はい。
2:28:56	はい。この左側ですね、ところの絵が書いてあるところですね。
2:29:04	溶接部と書かれているのは軸方向に連続して溶接しております、この黄色のAの部分はですね、絵の黄色の部分は、
2:29:16	斜め上にあるパーツと、右ミナミ下にあるパーツはそれぞれ別々のパーツになっております、
2:29:26	この左上のパーツが、本体側に設置されております。
2:29:35	軸方向に連続しています。
2:29:38	うん。
2:29:40	それに対して、この右斜め下のパーツが、このボルトを返して止めていると。
2:29:59	そこまでは、
2:30:02	我々の考え等、
2:30:05	NRA様の方の考えを一致しているということでよろしいでしょうか。規制庁のトガサキですけど、まずちょっと、この固定金具っていうのは、
2:30:17	これはうじゅ
2:30:19	縦方向に上から下までずっとあれですか、1本のものが、
2:30:25	本体に溶接されてるんですか。
2:30:29	左斜め上のパーツはそうです。これはだから、何かポイントポイントで、
2:30:36	もう儲けるじゃなくてこの上から下までずっと、
2:30:40	繋がってるものなんですか。そうそう。はい。
2:30:45	その溶接っていうのは、また上から下までずっと連続的にしてるんです。そういうことです。やっぱりさっきの17ページで、
2:30:57	角度的にはそういう、この図っていうのは正しくて、
2:31:02	力が工程と加わる角度として、
2:31:06	では、
2:31:07	母材と溶接部の境界のところにかかるっていう、そういう理解でよろしいですか。
2:31:12	力といたしました溶接を介して一体になってると思っておりますので、部分的に応力荷重がかかるというような考え方ではなくて溶接を介して一体でかかるというふうに考えています。
2:31:27	はい、わかりましたじゃそういう構造になってるっていうことですね。
2:31:31	はい、さようでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:31:39	多分もう、
2:31:44	規制庁松野です。ちょっとヒアリング時間も結構押してますので、
2:31:51	櫻井さんホデさんから何か確認したい点等あればお願いします。
2:31:56	うん。いいですかね。ちょっとす。
2:31:59	わずかですけども、
2:32:01	根井、パワポの 20 ページ。
2:32:07	のこの右側の図を見てちょっと不安になったんですけども、
2:32:13	ね、3 段目と 4 段目の横張りですよ。
2:32:18	そして、今、
2:32:20	分布数がかかって今評価対象とされているところの縦割りのところに行かんとかかってんだけど、
2:32:27	横割りの評価が、これがチャンピオンにならないっていうことは、何か示していただく必要があるんじゃないかなと思います。ていうのは、この
2:32:37	縦周りから集中荷重が入ってくる形ですよこれってね。イメージからする。それと、3 番目の燃料集合体の、
2:32:48	ウエイトが横割りにかかるっていうことで、
2:32:53	ちょっといびつな比率な両端固定のね、両端固定の集中荷重と分布荷重が合わさったような形なんですけども、今横堀は確か上の方の
2:33:05	この三日月形の上の方のやつでしたよね。
2:33:09	一番と評価 1 って書いてあるんですけども、これは確か薄層ですけども、
2:33:18	ここの評価 12 の左横ね。
2:33:22	要は比率にいびつになってるところ。
2:33:26	下のバスケットと上、下の下のコンパートメント上のコンパートメントがずれているところね。
2:33:32	ここって下の表かいらないんですか。
2:33:35	いらなかったらいらないっていうことでね、ちゃんと包絡していることをちゃんと説明してもらいたいと思います。
2:33:45	須藤さんのミナミです。そうしました。持ち帰り検討して、検討不要。はい。はい。はい。お願いします。
2:33:55	あとねトラニオンの評価で千田の話が先ほど出てましたけども、ご説明今日ご回答いただき、いただいたんですけども、
2:34:06	ね。
2:34:10	そっか。
2:34:11	認識、今のところ今のところ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:15	認識李の、この図なんですけどねこの済みでねちょっと不安になったのは、西山のね、猫背線だけやってるけどシアツは大丈夫なんですかね、確認されてますか。
2:34:29	ニジブのシアツ応力っていうのは大丈夫ですか。
2:34:39	山の麓のせん断をやってるのは理解しました。
2:34:43	よくあるパターンですけども、
2:34:45	やはり同じように、ある荷重っていうのはこっから押し付けてその先端に流れていくっていうことなんですけども、どうなってんのかなと、ちょっとこの図を見てると、
2:34:56	投資気圧で結構明暗菅湖すごい立つんじゃないかなという感じがしましたので、その辺のご確認はどうなってんのかなっていうのをちょっとお聞きしたいと思います。
2:35:06	兵頭清野ミナミです。コメントのイトウ、承知しましたので、持ち帰り検討いたします。はい。お願いします。
2:35:14	刀禰もう1個はどっかあった。先ほどね、ビーマ品の話、随分議論になってましたけども、
2:35:22	えっとね、要は、
2:35:25	先ほどトガサキさんがとかツカベさんの方からいろいろご指摘があった通りなんですけれども、
2:35:32	刀禰様は、
2:35:34	リビングお化けで例えば蓋の印籠みたいなところであればねそんな気にすることは無いと思うんですけども、それだけで結局、どうだ要は計上担保するためにこの李真木って絶対、
2:35:46	いるもんですよ必要なもんですよ。
2:35:49	であれば、要はこの渥美分の重量に対してDマッピング等がないっていう評価はやっぱりいるような気がします。
2:35:55	図面上だからすぐ向いてるんであって実際ね、実際それで确实保証さが製造の方でどう保証するのかって話もあるんでしょうけども、やっぱり若干ずれがあれば、当たり方によっては当然、その部分に対して、
2:36:09	ある部分の参集がかかって、要はここでリュ、要は千田は何もかからないっていう話だったら郵便いらぬ話になってくると思うんですよ。
2:36:17	ですからやっぱり、それ相応にこの形状を担保するという観点でルーム品の評価は、せん断なのか、どうなのかっていうところあるんですけども、何が必要ではないかなと考えます。
2:36:32	その後で、以上です。すいません。ありがとうございました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:36:44	規制庁松野です。
2:36:47	櫻井さんから何か。
2:36:49	すいません規制庁サクライすみませんもう1個だけ補足せ、本当にここ行きたいんだけど補足説明資料の別紙2の26かな。
2:37:02	阿藤コメン等リストの馬場合田と89番辺りの金具の、そうですね評価入れてもらって一番下の評価結果のところなんですけど、
2:37:16	別紙2の中とかで評価基準を満足するのそのあと直の固定金具に生じる応力はっていうところで、例えばこの140度における孔口力158より少ないっていうのは、
2:37:31	これ、どこから持ってきてるあれなんですか、当たり前。
2:37:35	金属構造キャスクとかに書いてあるってことですか。
2:37:41	地域活動のミナミです。この航空ディック自体は、
2:37:47	僕、基準、
2:37:50	基準自体は継続パック構造物。
2:37:54	只野。
2:37:56	基準を持ってきていて、その数字自体というのは、設計建設スタッフの方を参照するようになっておりますので、
2:38:05	それでいいから設計建設規格を参照したササキから読み込んでいるという形になります。すいません。
2:38:14	大窪荘司。
2:38:20	全然確認したわけじゃないんですけど多分設計建設Ⅱ規格とか、
2:38:26	金属構造キャスク、これ全部同じなんですよね今、今回追加していただいた固定金具も、固定ボルトでしたっけボルトとかあとバスケットとかの、この
2:38:38	応力は降雨何十度における、何とか応力よりちっちゃいっていう、この塑性変形しないとか壊れないとかいうのが、ここら辺の部分、どこから持ってきてるのかとかちょっとさ、後で、
2:38:52	注釈なりで変えた方がいいのかなっていうなんか読んでみると、ちょっとあれどこから、
2:38:59	持ってきたのかなっていうのがちょっとあったのと、この温度って何で140度なんですか。他で言うとバスケットだと180度ってあるんですけど、何の。
2:39:10	なんでこの値持ってきてるのが不思議。
2:39:13	ですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:39:15	自動線のミナミです。まず温度のほうにつきましては、それは貯蔵時の温度解析結果から設定した云々になっております。
2:39:27	例えばその運動、すいません。
2:39:30	解析した時の温度って、どっかのあれに載ってるんですか別な、例えば藤小野田除熱とかそっち委員会見ます。
2:39:42	そうなんですその、はい。なるほど。ところはですね、補足説明資料の米津の方を読み込むようにしてるんですがここ書き忘れてますので追記させてもらいます申し訳ございません。
2:39:54	ちょっといいですか法定ですけども、あのねまずね、設計温度をはっきりさせてください。
2:40:00	そういうことだから今のようなね指摘が出てくるんです。
2:40:03	だから汗をかくかくその今の構成部品に対して設計運動はどういう、どのような、例えば除熱評価から基づいて、何とかの通りとすると一番気を作っておいて、
2:40:16	そこからスタートすれば何も問題なくってで、それぞれを応力評価基準は、設計建設規格の別表何とか持ってきたとかね、そんな、
2:40:25	そういうことをちゃんと書いてあればこれわかる話であって、そういうこと抜かさずに行き、今みたいな、要は指摘が出てくるんだと思いますんで、まず、前提をしっかり書くようにしてください。
2:40:38	これ造成の南です。承知しました。前提を欠くように修正いたします。
2:40:46	あとすいませんついでに、パワポの方で議等が予防後の 16 ページの一番右側の全体像の図を見るとやっぱり、
2:40:57	衛藤。
2:40:58	バスバスケットはこうだんだん積みにはするんだけど、結局、筒状で下梶を与えるっていうことなんですよね日立造船さんも。
2:41:12	はい、首藤三宮です。今回の通り、
2:41:20	だけの輪切り 2。
2:41:23	それぞれバスケットでどこにどう力かかっているかというのをオカやすくするために、輪切り上のを出しているっていう。
2:41:32	理解でいいんですよね。
2:41:34	うん。
2:41:35	日立造船の樋口でございます。それは今 16、パワーポイントの 16 ページのお話をされておりますでしょうか。そうです。はい。これは均等にですね、荷重がかかっています、分散荷重ですよっていうことを示すために矢印を分けております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:41:59	じゃあそれぞれバスケットごとにやってるってことですか。今はじゃなくて ですね 2、2ヶ所に荷重が集中するときは矢印一つになるんですけど
2:42:12	砕波近郊にですね、荷重がこの面にかかりますよっていうのを示すため に、たくさん矢印を書いているっていうイメージで、バスケットの段ごとに一 つずつの矢印を書いているっていうイメージではございません。なるほど。
2:42:28	一応筒の
2:42:31	1ヶ所だけじゃなくて全面にかかるようにしているという説明です。その ご理解で間違いございません。はい。すいませんわかりました。ありが とうございます。
2:42:43	一応以上ですすみません。
2:42:46	はい。規制庁松野です。
2:42:49	では大体今日いろいろまたコメントが出ましたけども、またちょっと、日 立造船さんの中で検討していただいて、
2:42:59	再度ちょっとコメント回答の方、お願いいたします。
2:43:04	来週またヒアリング、
2:43:07	を行う予定ですので、
2:43:09	またさらにちょっと追加の質問等がある場合はまたそのときに、こちらか らお伝えしたいと思います。
2:43:18	以上でヒアリング終了したいと思いますけども、全体として、何かあれば お願いします。
2:43:43	千賀は特にございません。はい。
2:43:47	ではじゃこれでヒアリングを終了いたします。
2:43:53	ありがとうございました。ありがとうございました。はい、ありがとうございました。 ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。